

開倫塾ニュース 3月号御送付の御案内

大不況期の過ごし方を考える

- 自分の潜在能力を自分の力で発見し、自覚を持って学び続けよう -

開倫塾

塾長 林 明夫

Q：この塾長通信の目的は何ですか。

A：(林明夫：以下省略)

(1)開倫塾は、昨年(2008年)夏より栃木県北部にNASUブロックを開設。7月に矢板校、大田原校、黒磯校を、12月には西那須野校、那須校の5校を開校させて頂きました。現在5校で500名以上の塾生の皆様が開倫塾で学んでおられます。

また、2009年1月23日現在で、6606名もの皆様が開倫塾の塾生として勉強しておられます。

(2)開倫塾は、1979年に栃木県足利市百頭町に誕生した学習塾で、本年秋に30周年を迎えます。創業10年後を機に1989年に発刊したのが、毎月お手元にお届けしているこの「開倫塾ニュース」です。以来、塾長として私は、その巻頭言を担当させて頂いております。

(3)この巻頭言は、毎月原稿締め切り直前の15日頃に、開倫塾で学んでおられる塾生の皆様に、今、最も必要と思われることを、一気に書かせて頂いております。

例えば最近では、日本でも世界でも大不況に突入したことが昨年末に明確になりましたので、大不況の時期の過ごし方を考えて頂きたく、私の考えを書かせて頂いております。

少し片寄った見方かもしれませんが、このような考え方もあるのだと、塾生の皆様だけでなく、保護者の皆様、社会で活躍なさっておられる皆様にも是非お読み頂き、御参考にして頂ければ幸いです。また、御批判も頂戴できれば幸いです。

(4)但(ただ)し、巻頭言はスペースが限られておりますので、意が尽くせないこともあります。そこで、御説明しきれなかったことを可能なかぎりこの塾長通信で補わさせて頂いております。

(5)また、私が以前書かせて頂いたものの中に、今、お読み頂いても皆様の御参考になるものがあると思います。開倫塾のホームページ(www.kairin.co.jp)の中にある林明夫のコーナーで御覧頂けるようにしてあります。その中からは是非皆様にお読み頂きたいものをプリント・アウトして、この塾長通信に掲載させて頂いております。

(6)さらに、最近、御依頼により私が講演させて頂いた内容や、本を読んで書き抜いた内容、学習塾・予備校・私立学校の経営者のための月刊誌に執筆させて頂いている内容、開倫塾が新聞等で報道された内容等も、御参考までにこの塾長通信に掲載させて頂いております。

(7)少しお読みになりにくいとは存じますが、「情報」の一つとして御活用頂ければ幸いです。

Q：塾生の皆様はじめ読者の皆様に、今一番考えて頂きたいことは何ですか。

A：どうやら世界も日本も、本格的な大不況に陥ってしまったようです。学校で学ぶ塾生の皆様にも、また、社会で活躍なさる皆様にも是非お考え頂きたいのは、この大不況の中で、どう自分らしく、よく生きるかということです。そのために、今、何をしなければならぬかを、仲間と励まし合いながら本気で考えて頂きたいということです。この塾長通信が、そのときの御参考になれば幸いです。

Q：最後に一言どうぞ。

A：受験生の皆様は、お体に気をつけながら、入学試験の問題が配られるその直前まで諦めることなく、勉強し続けて下さい。

この1年間に勉強した内容をスミからスミまで完全に身に付け、自分のものにして下さいね。皆様の成功の実現を心からお祈り申し上げます。

- 2009年1月28日記 -

御参考

次の文章は、開倫塾ニュース 2009 年 3 月号の巻頭言です。御参考までに、この塾長通信にもお載せいたしました。

開倫塾ニュース2009.3月号巻頭言

大不況期の過ごし方を考える(3)

- 自分の潜在能力を自分の力で発見し、自覚をもって学び続けよう -

開倫塾

塾長 林 明夫

1. はじめに

Q：開倫塾の塾生である小学生・中学生・高校生であっても、この大不況を意識して生活したほうがよいのですか。

A：(林明夫。以下省略)開倫塾で学ぶ小学生・中学生・高校生であっても、既に起こってしまった厳しい現実としてこの大不況を意識し、学び続けたほうがよいと考えます。

2. 自分の潜在能力を自分の力で発見しよう

Q：では、どのように大不況期を過ごしたらよいのでしょうか。

A：まずは、自分の力で、自分の潜在能力を発見する努力をすることです。自分の中に潜在している、潜(ひそ)んでいる能力を自分の力で発見し、それを伸ばすことが大切と考えます。自分の長所・よさを自分の力で発見し、その長所・よさを自分の力で伸ばすことも言えますね。

自分の潜在能力や長所を発見することは、一つの能力です。この能力を身に付けるために、身近な人の潜在能力や長所・よさを一つでもよいからを見つける努力をすることを私はお勧めします。自分の家族や近所の人、友達、先生だけでなく、自分の住む地域や自分の通う学校、市町村、県、日本の潜在能力や長所・よさを一つでも自分の力で発見することで、この能力を身に付けることです。

自分自身のことは、意外と見えにくくわかりにくいので、自分以外の人やもの、社会の潜在能力や長所・よさを発見する訓練をすることで、自分の潜在能力や長所・よさを発見する能力を身に付けたらよいのではないかというのが私の考えです。

そのためには、人やもの、社会をよく見ること、観察することが求められます。どうか、温かい目をもって自分以外の人やもの、社会を見つめて、その潜在能力や長所・よさを一つでもよいから発見して下さい。自分自身のことも温かい目を見て、自分の潜在能力や長所・よさを一つでも自分の力で発見するよう努力して下さいね。

3. 自覚をもって学び続けよう

Q：自覚とは何ですか。

A：自分自身の立場・状態・能力などをよく知ること、わきまえることを「自覚」と言います。学力

も含め能力を身に付けるのに何が大切かといえは、「本人の自覚」と「先生の力量」であると私は考えます。自分自身の立場・状態・能力などの中には、自分の潜在能力や長所・よさも入りますね。これらをよく知った上で学ぶことが大切です。

これに加えて、自分の不足する能力・改善すべき点、はっきり言えば短所・欠点も、自分自身の力で発見し、そのことをよく知った上で、つまり「自覚」して学ぶことも大切です。だからといって、自分自身を責めないようお願いします。

Q：他の人にも短所や欠点はありますよね。

A：その通りです。誰にも短所や欠点はあり、他人ほど本人以上によくわかるものです。だからといって、他人の短所や欠点は責めないことが大切です。本人のことを思い、どうしても言ってあげなければならぬときには、よく言葉を選び相手のことを思いやりながらアドバイスしてあげて下さいね。

大不況の時は、仕事やお金まわりが以前と比べてよくなりますので、大人も子どもも皆カリカリすることが多くなると思われます。このような時こそ、自分を含め潜在能力や長所・よさを見つけて伸ばすようにし、他人の短所や欠点は口にしないほうがよいと思われます。自分と同じように、皆つらい思いをしているのですから…。

4. 「学び方を学ぶ」能力・スキルを身に付けよう

Q：どのように学んだらよいのですか。

A：「学び方を学ぶ」能力・スキルを身に付けることです。英語では Learning To Learn (ラーニング・トゥ・ラーン)と言います。ここで言う「学ぶ」は、英語の Learn(ラーン)ですから、一度 Study (スタディ)、つまり「理解」したことを「身に付ける」という意味です。一度「理解」したことをどう「身に付ける」、つまり「定着」させたらよいのか。その能力・スキルを一日も早く開倫塾で身に付けて下さいね。

5. おわりに

Q：最後に一言どうぞ。

A：開倫塾では、講習会や学期の初日に「開講式」を、各々の最終日に「修了式」を行います。その式の中では十分な時間をとり、また、毎回の授業中には3分間の「武者語り(むしゃがたり)」と称して、先生方が、人生とは何か、なぜ学ぶのか、なぜ進学するのか、進学して何を学ぶのか、どのように学んだらよいのかなどを、また、本や新聞の読み方、ノートの取り方などを少しずつお話するように努めています。ですから、塾生の皆様は、開倫塾の先生方のお話をノートにしっかりメモをして繰り返し読み、自分のものにして下さいね。

大不況は既に来てしまったような感じがしてなりません。だからといって、嘆き悲しんではいられません。自分の潜在能力を自分の力で発見し、自覚をもって学び続けることで、この大不況期を乗り切っていきましょう。

皆様はどのようにお考えになりますか。

御参考

CRT 栃木放送 2007 年 3 月 24 日の放送内容です。ラジオ番組「開倫塾の時間」は CRT 栃木放送 1062Kh、1530Kh、864Kh で毎週土曜日午前 9：15 から 9：25 まで放送中です。栃木県だけでなく、群馬県、茨城県でも、開倫塾のあるすべての地域でお聴きになれます。

毎週月曜日にラジオ局で録音していただき、その週の土曜日に放送していただいております。この 3 月で 24 年目に入る、勉強の仕方に特化した番組です。

CRT 栃木放送『開倫塾の時間』

2007 年 3 月 24 日(土)放送内容速記録

春休みの過ごし方を考える

- 春休みには美術館へ行こう -

開倫塾

塾長 林 明夫

1. はじめに

おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただきありがとうございます。

入学試験を実施した大学院・大学・専門学校・高校・中学校・小学校の試験も終わり、ほとんどの方は進学先が決まったことと思います。受験学年でなかった方々は、新しい学年でどのように過ごすかを考えていただいて充実した 1 年にしていただければと思います。

2. 春休みには美術館へ行こう

(1)ところで、春休みに入りました。春休みの過ごし方の 1 つとして皆さんに提案したいのは、お近くの美術館にぜひ行っていただきたいということです。栃木県内にはたくさんの美術館がありますし、茨城県や群馬県、埼玉県、福島県にもすばらしい美術館があります。少し足を伸ばすと、東京には数多くの美術館があります。ですから、春休みには、ご家族の皆さんと一緒に、あるいは一人ででも美術館に行っていたら、すばらしい春が過ごせるのではないかと思います。

(2)1 つおすすめしたいのは、宇都宮美術館で開催されている「シャガール・その愛のかけら展」です。これは、2 月 10 日から 4 月 8 日の日曜日までの開催です。春休みの期間とも重なりますので、皆様にもぜひ訪れていただきたいと思います。休館日は月曜日だけで、あとはずっと開催されています。私も 1 度行かせていただきましたが、シャガール展はすばらしい美術展でした。

- (3) 今日 3 月 24 日は、午後 1 時から「シャガールのユダヤ性」という講演会が講義室で行われます。先着 170 名で無料で聞くことができます。絵画を観る前、あるいは観たあとに、シャガールについてのお話をお聞きするのもよいと思います。大阪大学の教授の方がお話して下さるそうですので、勉強を兼ねてぜひ行っていただきたいと思います。
- (4) 宇都宮市の市立美術館は素晴らしいですね。敷地内に広大できれいな庭があり、そこではうさぎが跳びはねています。また、絵の具のチューブのようなモニュメントがあったり、山の魚のような「おさかな」という場所もあります。散歩をするのにもすてきなところですので、皆様もぜひ足を運んで下さい。
- (5) その他にも、栃木県には県立美術館や足利市立美術館をはじめたくさんの美術館がありますので、ぜひお近くの美術館に出掛けて時間を過ごされるとよいと思います。
- (6) また、栃木県にはたくさんの県立の公園がありますので、そこにも出掛けて行き、春の一日を過ごされたらよいと思います。県の予算を使って運営されているわけですから、どんどん利用し、自分の好きな公園を 1 つか 2 つ選んで季節季節の魅力を味わうのもよいと思います。例えば、井頭（いがしら）公園は 2 時間ほどで 1 周できますし、スポーツやいろいろなこともできます。
- (7) それから、栃木県の中心である宇都宮市には、県立博物館があります。春休みなどに、歴史の教科書を持って訪れ、歴史の教科書をじっくり読んで展示を見、展示を見ては教科書を読むという形で一日がかりで過ごせば、本当によい歴史の勉強になります。歴史が大好きな方、得意な方、あるいは不得意な方も教科書を持参して、教科書を読んで展示を見る繰り返しを 3 日間ぐらい続けていただきますと、栃木県の歴史を踏まえた上での日本の歴史が頭の中にすっかり入って、歴史好きになるかもしれません。
- (8) さらに、子ども科学館も素晴らしい施設です。理科の好きな方も不得意な方も行っていただき、科学とは何かについて十分に考えていただければと思います。
- (9) この他にも、栃木県には素晴らしい施設がたくさんあるんですよ。県立の図書館もあります。図書館も県民税で運営されているわけですから、どんどん利用しましょう。
- 宇都宮市と足利市にある県立図書館の他にも、あちこちに市立図書館があります。また、県民の方なら誰でも利用できる大学の図書館もあります。私は、日曜日に宇都宮市に行ったときは、宇都宮大学の峰キャンパスの図書館を利用するようにしています。日曜日は誰もいませんので、もし、よろしければ、今日でも明日でも行ってどんどん利用していただければと思います。
- 宇都宮大学だけではなく、栃木県内には 18 の高等教育機関があります。大学・短期大学・専門学校ほとんどのところは、図書館を地域の方々に無料で開放しています。氏名を書き、登録の手続きをしさえすれば、どなたでも自由に出入りし利用することができます。本の貸し出しは無理のようですが、中で閲覧をしたり、新聞を読んだり、勉強することは自由にできますので、

ぜひ、大学の図書館も使っていただければと思います。

3．おわりに

今日は、美術館から始まって、公園や博物館、子ども科学館、図書館の使い方をお話させていただきました。ぜひお近くの社会教育施設を十分に活用していただいて、充実した春休みを過ごしていただければと思います。

- 2009年1月27日加筆 -

*群馬県、茨城県も栃木県と同様に素晴らしい社会教育施設があります。是非御活用下さいね。

御参考

私は、1987年にアメリカを訪れた際に「IF YOU CAN DREAM, YOU CAN DO IT」という言葉を教えていただきました。これは、アポロなどの人工衛星を打ち上げているヒューストンの技術者の合い言葉だそうです。

次の文章をお読みいただき、夢をもち続けることの大切さ・すばらしさを実感していただければ幸いです。

月刊誌「みにむ」1993年4月号

IF YOU CAN DREAM, YOU CAN DO IT!

- 自分の人生に夢をもとう -

開倫塾

塾長 林 明夫

1 . 今回は、新年度を迎えるにあたって、とっておきのよいことばを覚えて下さい。ノートに書き取ったり、大きな紙に書き写して部屋にはったりして毎日口にする、皆さんの人生にとっても非常によいことばになります。何と英語です。

If you can dream, you can do it!

If(もしも)you(あなたが)can(できる)dream(夢を見ることが)「もしあなたが夢を見ることができれば」、you(あなたは)can(できる)do(することが)it(それを)！「あなたはそれを行うことができる」という意味です。

2 . このことばは、私が1987年10月にアメリカに行き、アメリカに住む日本人の子どもたちどのように勉強しているのか、アメリカの専門学校・短大・大学はどのように経営されているのかを勉強してきた際に教わりました。

(ちなみに、アメリカで最初の朝を迎えたのは10月19日。ブラック・マンデーと呼ばれる株の大暴落のあった日です。サンフランシスコのホテルの中にいた日米のビジネスマンはみな青ざめた顔をしていました。その後わずかの期間で景気が回復しようとは、その当時は誰も思いませんでした。)

教えて下さったのは、日本企業のアメリカ進出のコンサルタントもなさっておられる Yoshi Sawada 氏で、非常に優秀な方です。

3 . If you can dream, you can do it!

このことばは、アポロその他の人工衛星を打ち上げているヒューストンの技術者の合い言葉だそうです。このことばを唯一のたよりにして、人類を月にまで送り込んだのです。

どうか皆さんも夢をもって積極的に生きて下さい。夢のない人間の生活は、はかなくむなししいと思います。死にたくなる人さえいるそうです。その夢は皆さん一人ひとり違ってあたりまえです。どんな小さなことでもよいですから、自分自身の夢をもって生きて下さい。夢をもつことができ、夢をもち続けさえすれば、必ず夢は達成されます。

4．例えば、今英語が伸び悩んでいる人は、自分は英語ができるようになりたいという夢を是非もって下さい。夢をもったら次に、夢を実現するためにはどうしたらよいか、その「プロセス(process)」「手順」を具体的に考えて下さい。どのようにしたらその夢がかなうのか、最も合理的、最も効果的な方法・やり方(「プロセス」「手順」)を真剣に考えて下さい。あとはわき目もふらずその通りやってみるだけです。但(ただ)し、反省は忘れずに。反省をすると、次に同じようなことをやる際に役に立ちます。

5．偏差値を今から入試までに5アップしたい場合も全く同じです。「プロセス」「手順」を「考え抜き」、決めた通りにやってみるだけです。

勉強以外でも同じです。部活動をやっている人が多いでしょうが、是非チームメイトと来年度の夢を考えて下さい。夢は大きいほどよいです。「県大会」「市大会」「郡大会」で優勝しようとする決めて下さい。そうすると、夢がもてたことになりますね。その夢を実現するために、次に「プロセス(process)」「手順」を決めればよいのです。合理的な練習方法を徹底的に研究し、実際の試合で勝つ方法についてもあらゆる研究をして下さい。ただダラダラ練習だけして試合に臨んでも、研究熱心なところに負けてしまうのは明らかです。

6．誰かに会いたいという夢があったら、その夢をかなえるためにはどうしたらよいか。真剣に「プロセス」「手順」を考えれば、いつの日か必ず会えます。(但し、スターは対象にしないほうが賢明です。)

7．この文章を読んでいただいている皆様の中には、会社を経営なさっている方も多くおられると思います。会社を伸ばしたいと思ったら、7年後の2000年までにこの会社をどのようにしたいと夢をもって下さい。夢(ロマン)は大きければ大きいほどよく、少なくとも今の売り上げの2～3倍はあげようくらいがよいです。(難しいことばで言えば、「長期経営計画」を立てたほうがよいということです。)その夢を実現するためには5年後までにどうしなければならぬか、5年後の夢を達成するためには1年後どうすべきか、そのためには今月、今週、今日、何をしなければならぬかという「プロセス」「手順」を考えるとよいと思います。

8．夢を追い求める過程の中で挫折はつきものです。いくらやっても、勉強やスポーツ、仕事の成績は上がらない、上手にできない、誰も自分の言うことを理解してくれない、身も心も疲れる、何もかもうまくいかないと思うことがあるかもしれません。しかし、そんなときこそが大事です。自分で決めた夢ですから、何クソという気持ちで乗り切ってください。「もうダメだ、どうしようもない」などという消極的な考えは一切捨てて、どんなときでも積極的に自分の夢の実現に向けて努力して

下さい。つらいこと・困難なことを乗り越えるたびごとに人間が大きくなり、「人格」なるものが出来上がります。「グチ」や消極的なことばを言えば言うほど人間が小さくなり、まわりにいる人を暗くします。人の悪口もその一つです。

9．どうせつき合うのなら夢のある人とつき合った方が健康的です。あまりにも人の悪口やグチ、消極的なことばかりを口にする人とは、しばらく遠ざかるのも大事なことです。（本気で説得すれば直る人なら別ですが....）

10．私はアメリカに行った時に、このことばを教えて下さった Yoshi Sawada さんと会えてとても幸せであったと感謝しています。是非皆様にもこのことばをお伝えしたくて、紹介させていただきました。

11．私の夢は、北関東のあらゆる街に開倫塾を開校し、北関東の生徒の学力を大幅に向上させるお手伝いをすることです。学力の向上が教育のレベルアップにつながり、ひいては地場産業の活性化、日本の繁栄、世界の平和につながると信じるからです。外国にも塾や学校をつくりたいという夢もっています。

12．みんなが自分の夢をもち、その夢に向かって「プロセス」「手順」を考え一所懸命頑張れば、いつかきっとすばらしい世界ができるものと信じます。

If you can dream, you can do it! この言葉を合い言葉に頑張りましょう。

御参考

次の文章は、月刊誌「みにむ」(1994年5月号)のために書かせていただいたものです。「飛行機型・ロケット型の人生設計を」という朝日新聞論説主幹の松山幸雄氏のことばを受けて、夢をもつこと・もち続けることの大切さ、夢を作るために心掛けてほしいことについて示させていただきました。御参考までにご覧下さい。

月刊誌「みにむ」1994年5月号

飛行機型・ロケット型の積極的な人生を

開倫塾

塾長 林 明夫

1. 「高齢化社会で、われわれが心掛けるべきことはなによりも飛行機型、ロケット型の設計である」朝日新聞論説主幹の松山幸雄氏はこのように語っています。一昔前には夢でしかなかったことが次々と実現する、豊かな恵まれた時代を日本は迎えています。冒頭の松山氏は続けて、欧米のように、学生時代にエンジンをつけ一生かけて教養を伸ばしていく飛行機型、ロケット型の積極的、戦略的な人生設計を心掛けるべきとしています。若いとき得た資格・教養を足場に安住することなく、20代には20代こそ、30代には30代こそ勝負といった心構えを積み重ねていく必要があるとすすめているのです。
2. 新しい学年がはじまり1か月が経とうとしていますが、新緑の下でたまには自分の人生の過ごし方について考えていただきたいと希望します。今の時代は、自分の夢をもち、それを望むならば、反社会的なことでない限り、すべてと違ってよいほど実現できる夢のような世の中になっています。若いときから将来への夢を描いて目標をもち、その目標に向けて着実に研鑽を積み重ね、積極的な人生を送ることをおすすめするゆえんです。
3. 私たち人間が平等に授かったものに、「時間」があります。1日24時間、1年は365日、何歳まで生きられるかは個人差があるとしても、限られた時間の中で、できるだけ若いうちからいかに生きるかを考えていくことは、今、とても大切なことなのです。あなたがどのような生き方を選んでいくかは、全く自由です。しかし、どうせ生きるなら、実りある、身も心も豊かな人生を送りたいと思うのが人情です。そこで、どうしたら「飛行機型、ロケット型」の積極的な人生が送れるかを考えてみたいと思います。

4 . 夢をもつこと

If you can dream, you can do it !

(もしあなたが夢をもつことができれば、あなたはそれを行うことができる)

「夢」をもつことが最も大切。私はこのような人生を送りたいという、自分の人生のあるべき姿を思い浮かべることが大事。「夢」は、「人生というロケット・飛行機」を、ものすごいスピードでどんどん前に進めるエネルギーだからです。

ただ、「私には夢がない」、「何を目標に生きてよいかわからない」人も多いと思います。そんなときはあまりあせらず、じっくりと毎日の日常生活を充実させることを心掛けて下さい。一日の目標を立て、今日一日どのようにしたらその目標が達成されるかを考えて、一日を一生と思い生き抜いて下さい。一日を一生と思い、精一杯充実して生き抜く努力を積み重ねれば、自分なりの「夢」は必ず見つかります。

5 . よい人と出会うよう努力すること

人と人との出会いはとても大切。それも、自分より二まわり、三まわりも大きな人との出会いは、何ものにもかえがたいほど貴重なものです。どのようなところに行けばどのような人たちと出会えるかを絶えず考え、よい出会いを心掛けて下さい。

一度よい人と出会ったら、誠実にお付き合いをすること。その中で最も大事なことは、「約束した時間の 5 ~ 10 分前に約束した場所に到着し、息を整えること」。また、この人を利用しようなどとは決して思わないことです。

出会いに遠慮は不要です。会いたい人には「礼を尽くして」「手続きを踏み」「許しを得」どんどん会いに行くべきです。よい出会いが、「夢」を作ります。

6 . 「夢」を持ち続けること

作家の大江健三郎の著作に「持続する志」というエッセイ集があります。夢をもち、よい人に出会い、それがふくらんできたら、「志」を「持続」する努力をする必要があります。

コツコツ、コツコツと一つの夢に向かって努力をする姿は美しいものです。「モモ・クリ 3 年、カキ 8 年、それでもダメなら 10 年間」、必死で一つの夢に向かって努力を集中してみてください。必ず一定のレベルにまでは到達すると思います。日本ほど、世界中の情報が簡単に手に入る国はないとすら言われています。自分の「夢」みる事項について上手に情報を集め、コツコツと 10 年間努力をすれば、世界一のレベルで自分の夢がかなえられるかもしれません。わが祖国日本はそのような可能性を秘めた国にまで成り上がりました。

7．挫折・困難を乗り越えること

「夢」を実現するためには、乗り越えなければならない様々な問題があります。「ある学校に入るための入学試験の合格」も、その一つかもしれません。何百、何千とある困難を、一つ一つ乗り越えていくことが大切です。乗り越えられずに挫折してしまうこともあるとは思いますが、挫折は挫折で十分意味があります。どのような形で、挫折から立ち直るか、同じ失敗を 2 回しないようにするかを見極める能力を身につけることができるからです。

人間としての痛みも知ることができます。困難と立ち向かい、挫折を繰り返しながら、いろいろな素晴らしい出会いを積み重ね、少しずつ自分の夢の実現に向かって勉強を継続する姿こそ、「ロケット一生涯型・飛行機型人生」の極めつけではないでしょうか。

8．本当の勉強は、社会に出てからです。学生時代の勉強は、単にそのための基礎知識を身につけるための勉強にすぎません。しっかりとした「夢」や「目標」さえもち続けられれば、毎日の学校の勉強も、入学試験のための勉強も、楽しいもので苦にはならないはずですが、自分の「夢」の実現のために今日一日の時間を過ごす決意できれば、1分1秒が大切になり、一瞬一瞬の連続が一日をつくり、人生をつくりだすことがわかってきます。

「高い志」「夢」を持ち続けて本格的な人生を送って下さいますよう、心から希望します。

御参考

次の文章は、半年後に各学校の受験を控えた塾生の皆様の希望校合格を心から願い、この半年間にすべきことを3つ述べさせていただいたものです。「夏を制する者は受験を制する」という格言にも似たことばが示すように、特に夏休みの過ごし方が大切になります。3つの提言を御参考になさりながら、「自分の未来を自分の力で切り開くため」に、勉学に励んでいただきたいと思います。

月刊誌「みにむ」1993年7月号

知恵ある者は知恵を出し、知恵なき者は汗を出せ

開倫塾

塾長 林 明夫

1.1 ドルが105円台になり、日本の貿易黒字が過去最高になったとはいえ、そんなことにはおかまいなく、受験生には暑い夏が来る。

「夏を制する者は受験を制する」「受験生にとって夏休みが最も大切」と、よく言われる。「アリとキリギリス」の話ではないが、冬に備え、夏の暑いうちから十分に準備をした者が後になって成果が出ることが多いのは、受験勉強でも同じことだ。1年分のカレンダーを見れば、自分の入学したい学校の試験日はすぐにわかる(試験日は毎年、ほぼ同じなので)。入学試験の問題も、昔と違ってちょっとアンテナさえはりめぐらせば、すぐに手に入る。何点取れば合格するかも、大体はわかる。それを7月1週にやってみて、合格点に足りていれば「良かった」とし、もし足りていなければ不足している得点差を試験の日までにうめればよいこともわかりきっている。夏休みは部活動も終わり、一日中勉強できる日が40日間続くので、「入学試験で最低取らなければならない点数と、現在の実力との差」をうめる絶好のチャンスであるという意味が、「夏を制する者が入試を制する」という格言にも似た表現となって現れる。

ただ大部分の受験生は、入試の問題を合格最低レベルまで解ける力を身につける第一歩が夏休みであることに気付かず、ただ何となく貴重な時間を過ごしてしまう。これは、はっきり言ってあまりにももったいないことだ。なぜ、こうも毎年、夏休みを無駄に過ごしてしまう受験生が多いかといえば、それは「自分自身の得点力と入試問題との差(ギャップ)」を正確に認識しないからだ。

では、どうしたらよいか。次のようにすればよい。

(1)自分の受けたい学校を明確にする。

現実には、自分の受けたい学校が明らかになっていない受験生が非常に多い。高校生になると、この段階になっても進学か就職かが決まっていけない人も多い。食うや食わずから脱却して日本経済が世界で一番豊かになったため、半年先の自分の進路を深く考えなくても済むためかもしれな

い。進学することは決まっても、4年制大学か2年制の短大か、専門または専修学校か決まっていな人も多い。「一体、自分は何者なのか」から始まって、「自分はどのような人生を送りたいのか」「どのような職業に就きたいのか」、もっと具体的には「高校や中学校を出てから何をしたのか」という自分の人生の根本についての問いを、頭の芯が痛くなるくらい考え抜いている人は少ない。日本社会始まって以来の豊かさのためからか、保護者もかなり精神的・金銭的に“ゆとり”があり、子どもの好きな道を歩ませてあげたいと希望する人が多い。いろいろな人に相談は十分した上で、最終的には「自分の進学先は自分で決める」ことをまず考えるべきと思う。

(2) 受けた学校の実際の入試問題2、3年分を、時間制限を守って1学期の期末試験が終わった日にやってみる。正確に採点もしてみる。

受験生でありながら、ほとんどの人がこの作業をしていないことも現実の姿です。やるかと思いつかないのか、現実の姿を見ることが怖いためなのか理由はわかりませんが、「いつかどうにかなるだろう」「入試直前になって入試問題をやれば十分」と考える人が本当に多い。受験勉強は単に理想と現実(ギャップ)をうめるものにすぎませんから、本格的な勉強をスタートする夏休みに入る2、3週間前に、ギャップを明らかにしておかなければなりません。

(3) ギャップをうめるためには、何をどうしたらよいか徹底的に考える

一番良いことは、中学校や高校、学習塾・予備校の各科目の担任の先生のところに、数年分の入試問題と採点済みの自分の解答用紙の二つをセットにして持っていき、試験日までのあと何か月と何日間に何をどのように勉強すればこの差が確実にうまるかを、素直な気持ちで礼を尽くして聞きに行くことです。各科目の担任の先生は、その科目のプロで自分の担当科目については入試の問題にも精通しているハズですから、受けた学校2、3年分の入試問題と7月1週にやって自己採点した解答用紙を持っていけば、試験日までの勉強方法を具体的に考え、教えて下さるものと確信します。自分で考えてもよいですが、自分はその学校の受験生としては1年目で初心者であることも忘れてはなりません。初心者が自分で考えると、「妄想」が出るだけで、「人類はじめての実験」となり失敗する確率が大です。自分の信頼している各科目の先生に、自分のありのままの実力を見ていただき、試験日までの勉強方法についての指導を受けるのが一番です。

以上(1)~(3)ができれば、合格したも同然です。「自分の未来を自分の力で切り開く」ために、強い意志をもって机に向かえばよいだけです。ただ、どうしてもその気になれない人は、無理に受験勉強をすることはおすすりできません。「無理」にやったものは「イヤイヤ」ですから、いくら長い時間机に向かっても頭に「スー」と入らず、したがって「得点力」にはならないからです。かえってイライラがたまって、心が不安定になるもとです。ほかにやりたいことがあったら、気のすむだけやってから受験勉強すればよいと思います。また、どうしても勉強になじめなければ、ほかの道を歩むことをおすすりします。

ただ、高校入試や大学入試の問題は世の中に出て役立つことばかりですので、やっておいて損はありません。英語が読めて書けて聞けるようになり、現代の著名な文章からはじまり論理的な思考能力を身につけると同時に、日本と世界の地理と歴史、政治、経済、社会、ひいては国際関係論の基礎ま

でかなり正確に学ぶことができ、生物、地学、物理、化学の初歩をこれまたかなりキッチリと身につけることができるのが、受験勉強でもあるからです。中学 3 年間、あるいは高校 3 年間にやってきたことで不確かであいまいであった知識を、テストで点数が取れるレベルにまで身につけるのが受験勉強であるといえます。

その意味で、受験勉強を決して「被害者意識」ですることなく、「今までの勉強の総まとめをし、この先、学びたい学校での勉強の準備をするために行うのだ」ととらえて下さい。受験勉強の中にも、積極的な意味を見出し、暑い夏を勉強一色で過ごしていただくことを希望します。一生に 1 ~ 2 度、思い切り勉強するのもよい思い出になります。友達と励まし合いながら、この夏、力をつけて下さい。

ファイト！です。

御参考

栃木県経済同友会国際問題部会アジア委員会のベトナム・カンボジア経済視察団に参加して、3月6日から8日間現地を視察してきました。主に経済発展の観点から見て感じたこと・考えさせられたことを、経済学者や国際エコノミストの方々の著作と合わせて紹介させていただきます。じっくりとお読みになり、一人ひとりが平穏無事に暮らせる状況をつくり出すことがどれだけ大変で、かつ大切であるかをお考えいただきたいと思います。

月刊誌「みにむ」1994年4月号

カンボジア・ベトナム・香港、そして日本 - 栃木県経済同友会国際問題部会アジア委員会 ベトナム・カンボジア経済視察団に参加して -

開倫塾
塾長 林 明夫

1. (1) 国もひとつの生き物であるため、健康なときもあれば、生死をさまようときもある。どうすれば現在よりよい状況をつくり出すことができるかは、そこに住む国民の「自己管理能力」「自助努力」が大半を占めるが、重病や生き死にの場合には、優秀なお医者さんやよく効く薬が必要となる。
(2) カンボジアは生死の境をさまよって、いくらか生きる可能性を見出しつつある超重症患者。ベトナムは、病院から退院間際の回復しつつある入院患者。香港は、恐いのは雷おやじだけで、やり放題のガキ大将。日本は、バリバリ働いて一家の大半の収入をかせぎ出している40才に突入寸前の元気でまじめなお父さん。
(3) 3月6日に宇都宮を出てから宇都宮へ帰るまで8日間という短い間であったが、カンボジア・ベトナム・香港・日本と4つの国を、主に経済発展の観点から見て、おおよそ上記のように感じた。
2. (1) 「開発経済学」の教科書を読むと、非常に参考になることが書いてある。
「後発途上国が、食糧増産に最優先順位を置いて、国際機関から農業インフラ整備の支援を仰ぎ、まず食糧輸入を抑制する。そうすれば、1次産品輸出額の伸縮に応じて、輸入を弾力化できる。食糧輸入がふえれば、輸入が硬直化して経常収支の構造的赤字をつくり出す。
後発途上国が食糧増産に成功したならば、次のステップは、農産物の加工である。落花生油、綿実油、石鹼製造、綿紡織といった簡単な加工段階への進出は、技術習得と雇用吸収の効果が大きい。
後発途上国が1次産品輸出と並んで、農産物加工品の生産と輸出とに成功すれば、次に公

共事業投資を通じて工業インフラを整備する。道路、水道、電気、通信整備等を建設すれば、外資が進をもたらすばかりでなく、後発途上国の工業構造を高度化するのに寄与できる。

後発途上国がこうした工業化の手順を厳格に順守してこそ、NIES へ接近できる展望を持つことができるのである。

後発途上国が独立後 30 年の間に犯した過誤と失敗とを学習効果として活用していくならば、その過誤と失敗の代償も決して高くはない。」

* 以上、梅津和朗編著「新開発経済学」晃洋書房・1993年6月10日刊 P218 ~ 219 より引用。

何をもって「過誤と失敗」というのかについては大いに議論の余地はあるかと思うが、これを「様々な体験」と言い直せば、梅津氏の指摘は大方うなずける。

(2)「ある意味では、アジアほど政治と経済の結びつきの強かつ固い地域は、世界中存在しないといってよい。その理由は、端的に言ってアジアはまだ発展途上にある国々で構成されており、その中にただ一国、世界の経済を支える柱にまで成長した経済大国日本が交じっているという一種のモザイクがアジアの情勢の特徴だからである。

発展途上にある国々においては、なによりも経済の成長、発展に決意的に影響するものとして政治を挙げなければならない。筆者はかねてから、発展途上国が「離陸」して先進工業国に仲間入りするための条件として 農地改革、教育の普及、民族的対立の克服、政治の安定である。この経済成長あるいは 4 つの「離陸」の前提条件のどれをとってもすべて政治そのものがからんでいることはいうまでもない。率直な表現を使えば、この 4 つの「前提条件」を満足できない国は、どのように国土が広く、人口が多く、豊富な天然資源に恵まれているとしても、先進工業国と肩をならべる経済的な発展、あるいは成長を実現することは不可能といわなければならない。」

* 以上、ジュリアン・クイス著「アジアの世紀」- 環太平洋経済圏の可能性を探る - ダイヤモンド社 1992年8月刊の「解説・冷戦後のアジア経済をめぐって」長谷川慶太郎執筆部分(P386 ~ 387)より引用。

(3)カンボジアが、ベトナムが、香港が、そして我が祖国日本がどのような歴史を経て現在の状況に立ち至ったか。非常に重要な問題だが、これまでの固有の歴史を正確に認識しながら、各々の国家のあるべき姿の実現に向けてゼロからの出発をすべきではないかと、今回の短い旅行を通じて痛切に感じた。あるべき姿はどのようなものかは各国民の意思の一致で決めるべきものかもしれないが、どうしようもない極度の貧困状況にあるカンボジア、社会主義を掲げながら市場経済を目指すため、市場経済を実現するのに必要なものがほとんど未整備のベトナムには、開発経済学者や国際エコノミストたちの指摘がそのまま当てはまるように思われる。

3.(1)ただ、次のような視点から国の発展を考えることも必要と考える。

「内発的発展とは、目標において人類共通であり、目標達成への経路と、その目標を実現するであろう社会のモデルについては、多様性に豊む社会変化の過程である。共通目標とは、地球上のすべての人々および集団が、衣・食・住・医療の基本的必要を充足し、それぞれの個人

の人間としての可能性を十分に発現できる条件を創り出すことである。それは、現在の国内および国際間の格差を生み出す構造を人々が協力して変革することを意味する。

そこへ至る経路と、目標を実現する社会の姿と、人々の暮らしの流儀とは、それぞれの地域の人々の集団が、固有の自然的生態系に適合し、文化遺産(伝統)にもとづいて、外来の知識・技術・制度などを照合しつつ、自律的に創出する。地球的規模で内発的発展が展開されれば、それは多系的発展となる。そして、先発後発を問わず対等に、相互に手本交換をすることができる。」

* 以上、鶴見和子・川田侃編「内発的発展論」東京大学出版会 1989年3月刊第2章「内発的発展論の系譜」鶴見和子執筆部分(P49～50)より引用。

(2) そうは言っても、アンコール・ワットやアンコールトムスの入口近くの土地が、将来の観光施設用にとタイの人々によってほとんど買い占められたとか、アンコール・ワットを見に行ったらどこからともなく大量の少年少女たちが出現し、Can you speak English? と話しかけて説明をし、懸命に観光客の手を引き歩行を助けるので、いい子たちだと思っていたら、すかさず One Doller(1ドル)、One Doller(1ドル)と何人もが口走る。外には足をなくしたり1日1ドルも稼げない人々がたくさんいるのに、入ってみればアジアの中にこれ以上はないと思われような、いつも不在の王様のためのきらびやかな王宮などがあるのを見ると、「内発的発展論」もあるべき姿としてはよいが、現実はとてもそのレベルでないような気がする。

一人ひとりが平穩無事に暮せる状況をつくり出すことがどれだけ大変あり、また大切であるか、非常に考えさせられた8日間であった。

4. 「どなたか中古でもいいから消防自動車を一台寄附してはくださらないでしょうかねえ。プノンペンにはまともなのがなくて、火事が起こると自然に消えるのを待つしかないのですよ」「物なんかできるわけがない。組立工場も、部品工場も、いもの工場もすべてない。第一ものをつくることのできる20代以上の人がほとんどいないのだから。」「この国の人は全く気力がない。国連、特にその中で6割もお金を出してくれる日本人を頼りの綱にしている。」

- カンボジアで聞いたことば -

御参考

人間の生活には 4 つの段階があり、日本はその第 4 段階、つまり「内面的充実を求める生活」に入っていると考えられます。そこで、「内面的充実を求める生活」とはどのような生活か、それを目指すためには具体的にどうしたらよいか等について、次の文章で紹介させていただきました。御参考までにご覧下さい。

月刊誌「みにむ」1994 年 2 月号

Plain Living and High Thinking (生活は簡素に・思想は高潔に)

- 新年にあたり、「超低成長社会での生活の方法」を考える -

開倫塾

塾長 林 明夫

1. はじめに

われわれが生活をする日本の社会は、大きな歴史の流れの中でどのようなところに位置するのかを考えることも、年の始めには意義深いことのように考えます。

2. 人間の生活には四つの段階があると考えられます

(1) 第一段階は、生きるか、死ぬか、たえず生命の危険におびやかされる生活。政治的な混乱のために国を出ざるを得ない「難民」の人々の生活。戦争や内乱のためにいつ爆弾や銃弾のために生命を失うかもしれない人々の生活。飢饉(ききん)や食料不足による飢餓のためにいつか死するかもしれない人々の生活。これらが、人間の生活の第一段階である生きるか死ぬかの生活といえます。この段階の生活は、人間としての生存を維持するために生きることが最大の目標となります。

* 日本の社会では、歴史の上で数多く行なわれた戦いや内乱、最近では第 2 次世界大戦末期が思い起こされます。世界中には、現在でもこのような国が 30 以上あると考えられます。

(2) 第二段階は、食うや食わずの生活を国民の大部分がしている社会です。生存を直接おびやかす戦争や内乱・飢餓はないが、とにかく食べるものがない、身に着けるものがない、住む場所がない生活がこの段階です。一人当りの国民総生産(GNP)が、年間 200 ドル以下の国の人々の生活がこれにあたります。洪水が出るたびごとに国土の何分の一かが水浸しになったり、伝染病がたえず広がっている、乳児がどんどん死んでいく生活。日本では、最近では第 2 次世界大戦終了直後のほんの 1 ~ 3 年に、この状況が見られました。世界中には、現在でもこの状況の国が 50 以上あると考えられます。

(3)第三段階は、仕事もいろいろな活動もある程度うまくいき、ある程度食うに困らず、子どもを高校や大学にまで行かせることのできる生活。功成り遂げた生活。仕事の量も豊富にあり、猛烈に働けば働いただけの対価たる収入が確保できる。その収入で、家を建て、衣服や食料を購入、病院や学校にも家族を行かせることができる生活。日本は、第2次世界大戦後、昭和30年代から40年代・50年代と約30余年続けて、この「功成り遂げた」社会を築き上げてきました。「生きるか死ぬかの生活」からスタートして、「食うや食わずの生活」から抜け出し、「功成り遂げた生活」にまでもっていくのですから、ものすごいエネルギーを国民の一人ひとりが使用したことは言うまでもありません。アメリカをはじめとした世界の国々の援助、国民一人ひとりが休むことなく一所懸命まじめに勉強し、働き続けたことが、日本の国民に「功成り遂げた生活」をもたらしたものと考えられます。日本国民の平均的寿命は世界第1位 日本国内での犯罪発生率は世界一低い 日本国民の非識字率は世界一高い 国民一人あたりの国民総生産は世界で1、2を競うほど高い この49年間、1名も徴兵されていない(世界中で日本だけ) 外国との貿易の結果、黒字額は世界一高い。

日本は、誰にも否定できないほど「功成り遂げた国」になりました。

(4)第四段階では、今、日本はどこに向かっているのかといえ、次の第四段階、つまり、内面的充実を求める生活に入っているとと言えます。「一人馬に乗って丘の上に行き、はるか遠くを見ながらフーとタバコを一服すう」アメリカのタバコ会社の宣伝がありますが、あれに似ています。ベイトソンという人が「自然と精神」という本を出し、注目をあびたことがあります。「自分自身の中に本当にやりたいことを見出し、自然と一体化しながら、精神の充実を求める生活」が第四段階と言えます。

(5)私は、日本人はここまで一所懸命にあらゆる知恵を出しながら働き続けてきたのですから、最後には、第四段階にまでつき進んでもよいと考えます。住むところ・食べるもの・身に着けるもの・学校・病院・乗りものと、まだまだ不十分かもしれませんが、他の国々と比較してある程度まで整った日本ですから、そろそろ内面的充実に向けても一人ひとりの努力を傾けはじめてもよいと考えます。

(6)日本の経済は、本年も来年も好転するとは考えられません。したがって、これからは家族の年間の総収入も今までのように一定の割合で増え続けるとは考えられません。事によると家族のうち一人や二人は働く場を失ったり、収入を減らすことも考えられます。ただ、そうだと言っても、食うや食わずの段階や、生きるか死ぬかの段階にまで日本が一気にころげ落ちることはないと推測されます。おだやかな形で社会が成熟期を迎えると一番考えられます。この経済の状況はもしかしたら、「内面的充実」を求める生活には合っているかもしれません。

(7)ただ、内面的な充実を求めるあまり、日本人がもっている勤勉さを失ってはならないと考えます。不況の時こそ、今までにも増して熱心に働かなければ、日本の会社などあっという間に跡形もなく消え去ってしまいます。「研究開発」や「技術革新」を最大の熱心さで行うことこそ、不況の

時は必要です。仕事をもつ人は、不況の今こそ全身全霊を傾けて仕事に打ち込むべきです。学生は学生の職業である勉強に全精力を傾けて打ち込むべきです。日本が他の国に優るものは、国民の高学力と勤勉性・研究熱心さしかないのですから。労働時間が削減されたからといって遊ぶ時間を増やすようでは、その人にも、また日本にも将来はありません。自分自身の仕事の上での能力をさらに高めることが、削減された労働時間の使い方として最も重要です。

3 . 簡素な生活・高潔な思想(Plain Living and High Thinking)のすすめ

(1)東京都八王子市にある「大学セミナーハウス」のモットーが、このことばです。大学を出た後も何回か大学セミナーハウスでのセミナーに参加させていただきましたが、そのたびごとにこのモットーに触れ感銘を深くしていました。

(2)今までのような急激な経済的発展が期待できない以上、目指すは「簡素な生活」。それでいて自然と精神の一体化と内面的充実をはかり、「高潔な思想」を自分なりにつくり上げること。これが必要なのではないかと考えます。そのために何をどうすべきかを、是非皆さんにも年の始めに自分自身で考えていただきたいと希望します。具体的にどうしたらよいかを以下に列記しますので、参考にして下さい。

まず、大前提として今しなければならないことを確実に行うこと。自分の仕事は最大の熱心さで行うこと。学生の仕事は勉強であるから、まずは勉強に熱心に打ち込むこと。

お金はコツコツためること。1円のお金も粗末にしないでためること。無駄なことにお金は使わないこと。

家の手伝いは熱心に行うこと。自分の家庭や生活は自分で作りあげるものだと考え、家の仕事は熱心に行うこと。

やりたいことはどんどんためらわずに行うこと。行きたいところがあればどんどん行くこと。会いたい人がいれば積極的に会いに行くこと(芸能人は除く)。

*ただ、そのために周到に計画を立てて準備をすること。意味のない行動は少なくすること。

会ってくれた人にはサンキューレターを必ず出すこと。

一生かけてやりたい趣味・スポーツ・社会貢献活動・外国語・研究課題をゆっくり探すこと。

一番自分に合った非営利組織をゆっくり探し積極的に参加すること(他人の弱点にはすべて目をつむること、他人の非難は口にしないことが、この をするときには必要です)。

一つ一つていねいにものごとをやり、一日の終わりにはその記録を取っておくこと。資料は確実にファイルしておくこと。

御参考

ものごとを成し遂げるときに一番大切なのは、「手順を踏む」ということです。私は、柔道での「手順を踏む」ことを、中学校時代の柔道部顧問であった椎名弘先生に教えていただきました。もちろん学力を向上させるためにも「手順を踏む」ことが必要ですので、以下に紹介させていただきます。是非最後までお読みなり、御参考にさせていただければ幸いです。

月刊誌「みにむ」1994年7月号

「手順を踏む」ということ

- 効果の上がる勉強方法を確立するための基礎知識 -

開倫塾

塾長 林 明夫

1. はじめに

- (1) 期末試験の結果はどうでしたか。100点満点に限りなく近いよい成績をとることのできた方が、この開倫塾の塾生の中には数多くいたのではないかと思います。ただ、残念なことに十分な成績のとれなかった方もいると思います。
- (2) 学校の勉強ができる・できない、学校のテストで100点がとれる・とれない、このことに、頭がよいとかよくないとかは全く関係がありません。単に、勉強をよくやったか、よくやらなかったかだけあります。よく勉強をやればよい点数がとれるし、よくやらなければよい点数がとれない。よい点数がとれば、学校での評価が高まり勉強ができると言われ、よい点数がとれなければ学校での成績が上がらず勉強ができると言われぬ。ただ、それだけのことであります。
- (3) そうは言っても、100点がとれ、学校での評価が高まり、勉強ができると言われるのはなかなか難しいと思われぬ。学生であるならおそらく誰もが、テストで100点を取り、学校での成績を上げ、勉強ができると言われたいのではないかと思いますので、今回は、テストで100点がとれ、勉強ができると言われるにはどうしたらよいかを考えてみたいと思います。
- (4) 「他人から何と思われようが全く気にしない」「勉強ができるなどと思われたくもない」と考える人も、「自分の教わったことや現在学ばなければならないことを完全に身につけ、テストという形はとらなくても学んだことを100%自分のものとして使いこなすことが、テストで100点満点をとることと同じだ」と考えてもらえば、これから私が述べることも参考にならないわけではないと思いますので、是非最後までお読み下さい。あなたの人生の上で必ずためになります。

2. 「手順を踏む」ということ

- (1) ものごとを成し遂げるときに何が一番大切かといえば、「手順を踏む」ということであります。ある特定のひとつのものを成し遂げるときには、そのこと特有の踏まなければならない「手順」というものがあります。
- (2) 自分で成し遂げたいことがある場合に、それを達成するために試行錯誤を繰り返し、同じところを回るとは、「根性」や「精神」を鍛えるためには必要であるという人もいます。また、一度失敗したら「同じ誤ち」をしないように気をつけてもう一回挑戦し、違う失敗をしたら、これまた「同じ誤ち」をしないようにして、さらにもう一度やればいいのか、「人生は失敗の連続」「失敗し続けてはじめて人間の弱味がわかり、人間くさくなり、人間性が増すものだ」「だから人生において失敗は必要なのだ」などと、「失敗すること」をたたえる人さえいます。
- (3) しかし、私はそうは思いません。どのようなことでも、人間が考えたことであるならば、必ずそこには一定の「やり方」つまり「踏むべき手順」というものがあると考えます。このようにやれば、つまりこのような手順を踏めば、必ずこのようになるという「やり方」「手順」というものが存在すると確信をいたします。
- (4) サッカーのチームに入り、ゴール・キーパーとしての役割を果たすにはそれなりの「やり方」「踏むべき手順」があります。「県大会で優勝」するための「やり方」「手順」というものがあります。
- (5) 私自身は、中学生のころ陸上部には入っていませんでしたが、毎年陸上の100 m走と800 mリレーで地区大会に出て入賞し、県大会に行っていました。入っていた柔道部では、地区大会の団体戦で優勝し、県大会でも優勝、個人戦でも県大会で準優勝させて頂いた思い出がありますので、地区大会には地区大会のレベルに応じた、県大会には県大会のレベルに応じた勝つための「練習」があることはよく知っています。県大会終了後、何人かの選手が選ばれて、合宿をしながら県の体育館で栃木県警察本部の機動隊の柔道部の方と練習をさせて頂きましたが、非常に皆さん強くて驚きました。しばらくして、東京オリンピックに出場した猪熊選手が足利市の造士館という柔道場に来たときに稽古をつけてもらいましたが、襟をもった瞬間に片手で遠くのほうに投げ飛ばされ驚いた覚えがあります。団体に出場している県警機動隊の方々には団体レベルの、オリンピックで金メダルをとるような選手にはオリンピックの優勝レベルの「練習方法」「やり方」「踏むべき手順」というものがあるようです。
- (6) たいいてい、毎年地区大会で勝つチームには勝つチームなりの名コーチや名監督の先生がいらっしゃり、県大会でいつも優勝決定戦近くにまでいくチームには、そのチームなりの名コーチ、名監督の先生がいらっしゃった覚えがあります。生徒は毎年替わっても、地区大会や県大会ではいつも優勝を争う中に入っている先生がおられました。

(7)私が中学校時代に柔道を教えて頂いたのは、椎名弘先生という先生です。椎名先生は、教える中学校で、地区大会はもとより県大会で優勝かそれに準ずるような成績を生徒にとらせてきました。足利市立山辺中学校、第三中学校、西中学校が何年か前まで順番のように柔道が強かったのは、椎名先生のお陰と私は思っております。

(8)もし、我々中学生が自分で練習方法を考え、自分たちの考えた練習方法で練習をしていたら、失敗の連続で、県大会はもとより、地区大会の一回戦でも勝てなかったと思います。

(9)なぜ、椎名先生の教えを受けた中学校の柔道部は県大会で毎年優勝を争うまでになったのか。中学校を卒業してから、先生のお宅を訪問してお話を聞いてわかりました。先生は大学時代、宇都宮大学の柔道部のキャプテンをなさるほど柔道が強かったこと、中学校の先生になられてから人一倍柔道の専門家として柔道のコーチの勉強をなされ、文部省から派遣されてイギリスにまでお出かけになられたとのことでした。当時の中学生である我々は全くそのようなことは知らずにはいましたが、何と我々は、日本はもとより世界でも最高レベルの柔道のコーチを受けていたのです。たとえ相手は中学生であっても、「練習の方法」「やり方」「踏むべき手順」というものは、日本柔道界の今までの歴史と近代体育理論を踏まえた「本格的」なものでありました。

3. どこで踏むべき手順を教わるか

私の場合、「柔道」では足利市立山辺中学校という中学校で椎名弘先生というすばらしい先生に出会いましたが、問題は、どこに行けば自分の目標をかなえる、踏むべき手順を教えてくれる先生に出会えるかということです。目標が学力の向上や一定の職業に就くことであれば、よくアンテナをはりめぐらして、どこに行けばよいのかを考える必要があります。友達同士で話し合うことも大事ですが、「踏むべき手順は何か」「どこに行けばそれを教われるのか」などを話し合うレベルにまではなかなかいかないと考えます。先輩もよほどの人は別ですが年が単に何歳か上であるくらいの理由では、「踏むべき手順」について本格的な解答が出る可能性は低いと考えます。学校や塾の先生、ものごとを広い立場・視野からたえず見ている人を探し出し、その人から話をお聴きする以外にありません。どこに行けば自分の夢がかなうのか、たまには真剣に考えてみて下さい。

御参考

語学の勉強を始めるのは、早ければ早いほどよいとされています。そこで、開倫塾では「小学英語クラス」を開講し、創塾以来英語教育に力を注いできました。次の文章で、当塾の取り組みや自分で工夫できる英語の勉強方法を紹介させていただきました。いろいろな方法にチャレンジし、英語の力を高めていただきたいと思います。

月刊誌「みにむ」1994年1月号

英語は学生時代に徹底的に勉強しよう

- 一生使える英語学習方法の基礎知識 -

開倫塾

塾長 林 明夫

1. 英語は、小学5・6年生のときから勉強し始めましょう。

(1) 中学1年生から英語を勉強し始める国は、日本以外にはほとんど見当りません。ほとんどの国では、小学2年生から外国語である英語を「学校」で正式に教え始めています。語学の勉強は、早ければ早い程よいことは誰もが認めるところですが、日本の場合何故か中学1年生からで遅すぎます。文部省は、ようやく最近になっていくつかの実験校を指定して小学生への学校での英語教育について研究し始めましたが、全国の小学生全員に英語を教えるのが何年後になるかは明らかになっていません。そこで是非、小学生は開倫塾等の民間教育機関で英語を勉強することをおすすめします。

(2) 開倫塾の小学英語クラスは、開倫塾が創られた14年前からスタート。毎年改訂を行っている開倫塾のテキストに基づいて計画的に行なわれています。毎回の授業ごとの確認テストや家庭学習、毎月の月例テストまで準備されている小学英語クラスは、他に類を見ません。文法や書き取りも毎回しっかり実施していますので、お遊びではない本物の実力が身につき、中学1年生になってそのまま開倫塾で英語を継続すれば、必ず通知票で4あるいは5が取れる内容となっています。どうか歯をくいしばって、小学生から開倫塾で英語を勉強して下さい。

2. 中学・高校時代は、「会話」だけでなく「文法」と「作文」と「長文読解」を勉強の中心にすえよう。

(1) 「日本人はいつになっても英語が話せない、その原因は中学・高校時代に文法や読解ばかりやっていて会話をおろそかにしたからだ」との反省のもとに、最近の中学・高校の英語の教科書は「会話」が中心となり、授業でも発音練習や会話の練習時間が大幅に増加しました。それはそれで非常に意義深いことですが、だからといって学校での英語の授業時間が増えたわけではありませんので、その分文法や作文・長文読解の時間が大幅に減少したと言えます。

(2)世界の人々とコミュニケーションをはかるにあたり、どの程度の英語力をもって十分かはあまりはっきりとはわかりませんが、中学や高校で習うべき文法事項や構文・単語くらいはすべて口をついて出、完全に書けなければまずいと考えます。また、中学や高校の教科書に出ているくらいの文章は日本語の文章とほぼ同じスピードで読めなければ、学生相応の十分な英語力が備わったとは言えないと信じます。

そこで、多くの授業時間が会話やコミュニケーションに向けられたために学校で十分に勉強できない文法や英作文・長文読解は、「意識的に時間をとり」自分自身で身につけておく必要があります。

(3)開倫塾では、高校入試や大学入試にも十分対応できるだけの文法力・作文力・長文読解力も塾生の皆さんに備わるようカリキュラムを練り上げ、教材や教え方ばかりでなく毎回の授業の確認テストや月例テストにも工夫をこらしてします。学校であまり時間を割かなくなった分、開倫塾で十分補いますので、どうか安心してついてきて下さい。

3. 学校や塾で教わる以外にも、英語の勉強の方法を自分で工夫しよう。

(1)開倫塾の最終的な教育目標は、一人ひとりの塾生の「自己学習能力を育てる」ことにあります。開倫塾の塾生である今から、英語についても自分なりの勉強方法を身につけて、一生のものにしてもらいたいと希望します。以下、いくつか、皆さんが今日からでもできることをお伝えしますので、気に入ったものからどんどんチャレンジしてみてください。

(2)英語で歌を歌おう。好きな歌手やグループが英語で歌を歌っていたら、歌詞カードを拡大コピーして、最初はそのコピーを見ながら何十回、何百回もテープやCDといっしょに歌ってみよう。意味が知りたくなったら、辞書を引いたり、塾や学校の先生に聞いてみよう。見ないで歌えるようになったら、カラオケに行ってみよう。

(3)英語の絵本をたくさん読もう。少し大きめの本屋さんには、英語の絵本がたくさん売っています。1か月に1~2冊は英語の本を買ってきてじっくり読んでみよう。小さな声を出して読んでみよう。絵本がよく読めるようになったら、英語の童話や短かめの本も是非手元において折りにふれて読んで下さい。

*少し英語好きの友だちには、お誕生日のプレゼントに英語の絵本をあげると喜ばれますよ。

(4)英語で日記を書こう。正確な文章にならなくてもよいから、英語で日記を書こう。他人に見せるものではないから、単語しか並んでいなくても自分でわかれば十分。日付と、天気と、今日やったこと、今日少し感じたり考えたこと、読んだ本の題名やちょっとした感想など。難しいことを書こうと思わないで、毎日気楽に一行でもよいから書くこと。2~3日休んでも気にしないでまた書き始めることも大切。休み休みでもよいから1年間英語で書けたら、あなたはもう英語大好き人間で国際人です。

- (5) 英語の映画をたくさん見よう。好きな映画をビデオ屋さんで借りてきて見るのが一番手っ取り早い(但(ただ)し、お金がかかる)。私はバック・トゥー・ザ・フューチャーの第一部はもう 5 回も見てしまいました。何度か続けて見ているうちに気に入った表現があったら、カードに書いて覚えてしまうとおもしろい。
- (6) 国際交流協会等に入り、そこに来ている外国の人と実際に英語を話してみよう。各市町村には、正式な形での国際交流協会がずい分とできてきました。私は、足利日仏協会と足利市国際交流協会に入会させて頂き時々外国の方とお話しています。小・中・高生でも各市町村の国際交流協会には入会できますので、保護者の方の承諾を得た上で積極的に参加されることをおすすめします。学校の中にある英語部(English Speaking Society)に参加するのもおもしろい。Y M C A もとても有意義です。
- (7) テレビやラジオの英語番組もどんどん見て下さい。音声多重型のテレビや衛星放送が受信できるテレビがあれば、英語でニュースが聞けます。少し英語が好きな中学高学年や高校生には絶好の勉強教材となります。NHK のラジオやテレビなどでやっている英会話や英語の教養を高めるための番組も非常に役に立ちます。放送大学の番組もテキストを大きめの本屋さんで買い求めて予習さえすれば、高校生でも十分に理解できます。ビデオやテープで繰り返し復習すれば、テレビやラジオだけでもアメリカに留学したと同じくらい力がつく日本の状況です。
- (8) 英字新聞・英語の雑誌もどんどん読んで下さい。高校生でも読める新聞として The Student Times や Asahi Weekly があります。週刊の雑誌 News Week には日本語版も出ています。自宅でとるのが大変なときは、図書館で週に 1 回目を通して下さい。TIME や ECONOMIST もとてもためになります。
- (9) お小遣いがたまったら海外旅行へ おみやげさえ買わなければ、海外旅行は国内旅行よりはるかに安く上がります。保護者の方と十分話し合った上で、何年に 1 回かは海外に出かけてみると、世の中の見方が幅広くなります。

御参考

日本語の「習う」を英語で表現すると、study あるいは learn ですが、この 2 つは意味合いが多少異なります。次の文章では、その違いと study・learn それぞれの内容について詳細に説明させていただきました。御熟読なさり、study だけでなく learn も徹底的に行ってください。そして、学力向上と希望校合格を果たしていただきたいと切願いたします。

月刊誌「みにむ」1993 年 10 月号

「勉強したことを身につけるには」Study だけでなく Learn も徹底的に行おう

- 「単に勉強する」だけでなく、「勉強したことを身につける」にはどうしたらよいかを考える -

開倫塾

塾長 林 明夫

1 . learn は知識・技術を学んで身につける、あるいは覚えるという意味であるのに対して、study は読書・考察などをすること、あるいは学校の学科目として勉強することを意味し、結果が身についたかどうかは問題にしない。日本語の「習う」は両方の語で表現できることも多いが、いずれを用いるかで多少意味合いの相違がある。

2 . We study English at school.

学校で英語を習っている。(英語の授業を受けている)

We learn English at school.

学校で英語を習っている。(授業を受ける結果として英語を覚える)

I studied five English sentences.

英文を 5 つ勉強した。(結果は不明)

I learned five new words.

新語を 5 つ覚えた。

* 1990 年刊 研究社刊「ライトハウス英和辞典」第 2 版 竹林滋・小島義郎編 P800
より引用

3 . 英語の勉強が多少すすんでくると、似たような意味の単語(「類義語」と言います)の違いを知ることに関心をもつようになります。pretty と beautiful、handsome、goodlooking、lovely はどう違うか、see と look と watch は同じ見るでもどう違うか等々興味はつきません。

*ところで、英語の単語量を一気に増やす一番手っ取り早い方法の一つは、このような類義語をどんどん覚えることと、WORDFAMILY つまり基本的な一語から派生する単語（beautiful を覚えたら、その名詞形である beauty や副詞形の beautifully）もついでに覚えてしまうことであるとよく言われます。単語量（語彙量）を一気に増やすため、是非この方法もお試し下さい。

今回は、勉強の秋を迎えるにあたって learn と study の違いを勉強しようと思います。この文章のはじめに紹介した解説は、高校生の間でよく使われている研究社のライトハウス英和辞典での learn と study の相違の説明です。（2～3度声を出してこの説明を読んで頂いて、感の良い皆さんは、これから私が何を言おうとしているかが推測できると思われるくらい、わかりやすい説明です。）

4. 学校や塾では、とりあえず徹底的に study してみよう。

結果が身についたかどうかは次の話として、とにかく一所懸命に、目の前に与えられた、また、自分で取り組もうと決意した科目や分野・事柄について「勉強」をしてみよう。student(学生)とは、study(勉強する)人のことを言います。student(学生)の職業(仕事)は study(勉強すること)にあるのですから。

学校や塾、その他の教育機関に行く機会を与えられた学生は、とにかく先生から教えを受け勉強することが仕事なのですから、勉強を熱心にすべきであると考えます。

* 内容が身につくかどうかは、勉強してから、つまりその次の段階です。「とにかくひたすら勉強」することが大事です。逆に言えば、ひたすら熱心に成果だけを求めようとするのはあまりにも「虫がよすぎ」ます。この世の中は、勉強もせずに学力が身につくほど甘くありません。

* TV・長電話・ファミコン・長風呂・長ケンカ・長い時間クヨクヨ悩むこと等々をできるだけ抑えて、勉強のための時間を取り戻すことが「勉強」をする上で最も大事です。ダラダラせずにテキパキ物事をやることは、部活動や家の手伝いを両立する上で重要です。自分自身を伸ばして(コントロールして)時間を有効に使い、やりたいことと同時に学生としての勉強も確実にこなす能力を小・中・高校生時代に身につけることを切望します。

5. 一定量・一定時間 study (勉強) したら、その重要部分を確実に learn (身につける・覚える) することに全力を傾けよう。

記憶の痕跡を残すことによって短期記憶を長期記憶にすることが、この作業の具体的な内容です。人間は、一度 study (勉強) した内容でも、時間がたてばほとんど忘れてしまうものです。頭の良し悪しなどありません。短い時間は記憶していることができますが、長い期間記憶していることは困難です。そこで、どうしたら、一回勉強したことをずうっと長い間覚えていることができるかということが大事になってきます。

そのための最もよい方法は、意識的に一つのことを一度 study (勉強) してある程度理解したら、忘れる前にもう一度簡単な形でもよいから反復学習することによって、新たな刺激を脳に与えることです。英語なら、前の日に勉強した内容は必ず翌日に声を出して読んでみる、テキストの本文をもう一度何も見ないで書いてみる等の作業をするとよいでしょう。3日目・4日目も同じような作業を繰り返すと、ほとんど忘れないようになります。さらに、学校や塾での豆テスト・確認テスト

を利用してもう一度復習をし直し、1～2か月に1回学校や塾で行われる中間・期末テスト、月例模擬テストでまたまた何回目かの勉強を繰り返して記憶を完全なものにすることが大事です。

せめて学校や塾の教科書くらいは、1ページから最終ページまで一語一句確実に暗記するくらいが望ましい。人間の記憶力は年とともに衰えますが、まだまだ頭の柔軟な10代、20代でしたらいくらかでも覚える努力を積み重ねて下さい。

- 6．但(ただ)し、意識的に覚えようとしないと大量の知識はなかなか身につけません。月 日までにここまで覚え切ってやるぞと、「気力」を充実させて立ち向かって下さい。ダラダラやっていたのでは1ページも進みませんが、やる「気力」にあふれていれば、勉強はいくらでも進みます。
*もっとよいことは、今まであまり勉強しなかった人も「気力」さえあふれていれば、いくらでも「身につけること」ができるということです。勉強に頭の良し悪しはありません。意識的に study (勉強) し、意識的にそれを learn (身につける) しようとするからです。
*特に受験勉強などは簡単で、今日説明したことがわかっているかどうかだけで合否は決まります。まずは徹底的に study してみる。その後、徹底的に learn する努力をしてみる。この二つの区別を明らかにしながら、「気力」を充実させて机に向かって下さい。必ず道は開かれます。

- 7．具体的な勉強の仕方のわからない人は、遠慮せずに開倫塾の先生方に相談して下さい。家で勉強のできない人は、授業前・授業のない日などに、開倫塾の空いている教室で遠慮なく勉強して下さい。勉強の上で困っていることがあれば、開倫塾を最大限利用して下さい。開倫塾では、全力を傾けて塾生の皆さんの学力向上と希望校合格を支援し続けます。遠慮は無用です。

御参考

次の文章は、学校の定期試験でよい点数をとるための方策を提示させていただいたものです。特に英語と数学に関しては、順を追って具体的にお示ししました。この文章を読んだその日から定期試験最終日の前日まで、この方法で実際にやってみると、驚くほどよい点数がとれるようになります。ぜひお試し下さい。

月刊誌「みにむ」1993年11月号

2学期の期末試験でよい点数をとるためにはどうしたらよいか

- 定期試験での100点のとり方 -

開倫塾

塾長 林 明夫

1. はじめに

どうしたら学校の定期試験でよい点数、できれば100点満点がとれるかは、学生という「職業」に従事している人にとっては避けて通れない問題です。なぜなら、定期試験でよい点数がとれるということは、学生という職業と正面から立ち向かい、真面目に「自分の仕事をした」結果だからです。学生は「勉強することが職業・仕事」ですから、よく自分の仕事をした人は定期試験でよい点数がとれるし、仕事を十分しなかった人は、あまりよい成績がとれないと言えます。これに加えて特に最近では、よい成績がとれ、その学校を出る時点でよい評価が得られると必ず後々報われることは、学校の勉強でも同じです。

そこで今回は、とりあえず間近に迫った2学期の期末試験でのよい成績のとり方を説明します。

2. 「今度の定期試験こそよい点数をとるのだ」という固い決意をすること

決意ができていないのとしないのでは、天と地の違いがあります。固い決意ができ「やる気」にあふれていれば、限りないエネルギーが全身からにじみ出てくるからです。「ミラクルパワー」が全身からあふれ出ます。

意志が弱くなかなかやる気になれない人は、本当に気の毒としか言えません。ただ、そこであきらめたら一步も進まないのだから、やる気のない人にやる気の出るっておきの方法を今お教えします。とても簡単なことです。それは「やる気にあふれている人に近づき、その人からあふれ出ているエネルギーをおすそ分けしてもらおうこと」です。友達でも、先輩でも、親戚のおばさんでも、誰でもいいのです。とにかく元気いっぱい全力を傾けて生きている人のそばに近づいていき、エネルギーのおすそ分けにあずかることです。元気のない人、いつも消極的・否定的なことばかり口走る人はエネルギー源とならないばかりか、こちらのエネルギーも取られてしまいますから、できれば「あいさつ」程度のつき合いにしておくことも大事です。(病気やその他特別の理由で気弱になっているなら別です。そういう人には、やさしくしてあげて下さい。)

3. 学校から帰ったら、夜眠るまでにしなければならない勉強の内容をまず一覧表に書き出し、タイム・スケジュール表を作成、終わった項目から赤線で消していくこと

(1) 半月分、1 か月分の計画を立てられ、それをそのまま「実行」できる人には、このやり方は必要ありません。しかし、計画を立てられない人、立てても最後まで実行できない人には、この方法はおすすめです。なにしろ、学校から帰ってから夜眠るまでの計画を、家に帰って少し休んでから立てるので、「ちょっとだけしかやる気のない人」でもこれはできます。

* 私立中学入試を受けようとしている小学 5、6 年生は、保護者の方といっしょにこの計画を毎日立てて下さい。現在どのような成績でも、必ず短期間にもものすごい学力が身につきます。

* 大学受験を間近にひかえた高 3 生や浪人生にも驚くほどの効果があります。是非試して下さい。

(2) 土曜日や祝日、日曜日は、朝食を食べ終わったらこの表を作成するとよいでしょう。

終了した項目を赤線で消していくと、ああここまで終わった、もう一息だと、勉強に励みができます。2 ~ 3 日続けられれば、自分自身のペースがつかめ計画の立て方が身につきます。試しに、私のこの文章を読んだその日から定期試験の最終日の前日まで、この方法を是非実際にやってみて下さい。あなた自身が驚くほど、よい点数が全科目ともとれていますので。

4. 英語は、本文と基本文の日本語訳を見て英語が書けるようにまずすること

(1) 数学は、教科書の問題を 6 回解くこと。

科目ごとに何をやってよいかわからない人は、まず以下の通りのことを英・数 2 科目についてやり終えて下さい。

(2) 英語

まず、中間試験用の英語のノートを 1 冊作って下さい。2 学期の中間試験の範囲のすぐ後から今習っている課の最後あたりまでが、2 学期期末試験の範囲です。この範囲について、まずノートの左ページに 1 行おきに、教科書の本文と基本文の日本語訳を書いて下さい。意味がわからなければ、教科書やノートを見たり先生や友達に教えてもらって下さい。試験範囲についてすべての意味を書き終えたら、日本語訳だけを見て一気に英語をノートの右ページにこれまた 1 行おきに書いて下さい。書けないところはどんどん残して OK です。発音はうっすらわかるがスペリングが書けない場合は、カタカナで書いておく。全範囲について英語を書き終えたら、赤のペンでいねいに添削をして下さい。後は、そのノートを常に持ち歩いて完全にできるようにすればよいだけです。そして、試験までに 2 ~ 3 回、ノートの左ページの日本語訳だけを見て、別の紙やノートにその英語を書いてみることを試みれば、短い時間でとてもよい点数がとれる基礎ができます (これだけでも 60 ~ 70 % は OK です)。

* もちろん、暗記やスペリングを書く練習を十分にしてからこの方法を試みるのが最もよいでしょう。何も見ないで本文を一気に書き上げる「暗写」までできれば、80 点以上は確実にとれます。

*この和文英訳の作業が終わってから、準拠問題集を2～3種類一気に終わらせ、これまた間違えたところをていねいに自分で赤色で添削、そこだけ集中的にやり直せば100点に限りなく近づきます。

*英語の勉強をする上で大事なことの一つに、「教科書を大声でただひたすら読むこと(只読)」があります。毎日20～30分間、おなかの底から声を出して、試験範囲を読み続けるだけで、100点をとってしまう人がたくさんいます。ここまでやれば、毎日読んだ教科書の文章は死ぬまで頭から離れませんので、一生使える英語の基本ができます。英語好きには、大声で英語を読むのが好きな人がたくさんいます。

(3)数学

英語と同じく、2学期期末試験でよい点数をとるためのノートを1冊用意して下さい。数学の試験範囲も英語と同じく、2学期の中間試験の範囲の直後から今学校でやっている内容の章の最後あたりまでだと予想されます。これで範囲がわかりましたから、後は、その範囲の教科書に出ている問題をていねいに1題ずつすべて解いてみるだけです。どんどん解いてみて下さい。わからない問題はわかるところまで解くことも大事です。範囲内の全部の問題を解き終えたら、答え合わせをして下さい。学校の授業中に使ったノートやガイドを見てもわからなかったら、英語同様、先生や友人に教わって下さい。塾の先生にもどんどん聞いて下さい。

できなかった問題は赤でていねいに添削。その場で2～3度やり直して下さい。この作業が一通り終わったら、もう1冊の薄目のノートを用意して、間違えた問題だけ問題と解答の仕方をていねいに書き写し「間違いノート」を作成して下さい。この「間違いノート」の問題だけをもう5回やり直し、問題を見た瞬間に「解き方」と「解答」が出てくる前の状態にして下さい。期末試験のような定期試験ならこれだけで80%以上必ずとれます。(学校によっては100点も。)

ここまできたら、開倫塾で使っているテキストをもう一度解き直して下さい。レベルの高い問題も難なく一気に解けるようになります。

御参考

次の文章は、得意科目や得意分野をつくり、それをさらに伸ばすためにはどうしたらよいかについて、私の考えをまとめたものです。これは、勉強以外で自分のやりたいことを高いレベルにまでもっていくのにも応用できます。御参考までにご覧下さい。

月刊誌「みにむ」1993年12月号

得意科目をどんどん伸ばそう

- 得意科目の得意分野をさらに伸ばすための基礎知識 -

開倫塾

塾長 林 明夫

1. はじめに

『音階の練習ほど退屈なものはない。それでもピアニストは、大家になればなるほど、音階の練習を忠実に繰り返す。毎時間、毎日、毎週繰り返す。同様に、外科医も、優秀であればあるほど傷口の縫い目を正確に合わせるための練習を毎時間、毎日、毎週繰り返す。』

ピアニストは、何ヶ月も、あくことなく音階を練習する。しかし演奏の技術は、ごくわずかに向上するだけである。だがこのわずかな向上がすでに内なる耳によって聞いている音楽的成果を実現させる。

外科医も、何ヶ月もあくことなく傷口を縫い合わせる練習をする。しかし、指の技術はごくわずかに向上するだけである。だが、このわずかな向上が手術のスピードをあげ、患者の命を救うのである。

「達成」とは積み重ねである。

「達成」とは上手に行えないことを前より下手でなく行えるようになることではない。「達成」とは、すでに上手に行えることをはるかに上手に行えるようになることである。したがって「達成」は、生徒の強みに基づかなければならない。』

* P・F・ドラッカー著「ポスト資本主義社会」(21世紀の組織と社会はどう変わるか)

ダイヤモンド社 1993年7月刊 332 ~ 333 ページより引用

2. 「継続」すること

(1) 得意科目をつくったり、得意科目をさらに伸ばすための第一の条件は、「継続」することです。

ピアニストが音階の練習を、毎時間、毎日、毎週するように、基礎的な勉強(作業)を「継続」すること。これが一番大切です。

「継続学習」こそが、得意科目をつくり、得意科目をさらに飛躍的に伸ばします。継続すべき学習(作業)の内容は、各科目や分野によって異なります。ピアニストや外科医のように、確立したものが勉強の各科目にあるというわけではないでしょうが、自分自身で探し求め、自分なりの内容を確立すべきかと考えます。

(2)例えば、英語についての私の考えは次の通りです。

英語

テキスト本文をただひたすら 5 回読む(只読)。とりわけ、今まで勉強したところはテキストの 1 ページから前回やったところまで、1 回は必ず声を出して読む。意味不明な単語は、ためらわず辞書をひき、意味をノートやテキスト内に書き込む。書けなそうな単語は、これまた、ためらわず書き取りの練習をする。

最近の中学生や高校生用の英語の辞書には、大切な語句についてゆっくりと丁寧に読めば、十分理解できる説明がされています。

高校入試の受験生は、これに加えて、全国の入試問題集を買い求め、1 日に 1 都道府県の問題を解くとよいでしょう。大学入試の受験生は、赤本を買い求め、1 日に 1 年分必ず解き進めることを、継続学習の内容としておすすめします。過去の入試問題を解くときには、まず時間通り一通り解き終えること。その後すぐに解答を見ないで、教科書を学習するのと同じく、英文はすべて音読し、辞書をひき、書けなそうな単語をその場ですべて書けるようにして下さい。その後、解説解答部分を、学校や塾・予備校で先生の授業を聴講するような謙虚さで、ゆっくりと丁寧に読んで下さい。その際にもノートを取り、英文はすべて読む練習をし、書けなそうな単語をすべて書き取る練習もして下さい。「模擬試験」を受けた後も、これと同様の方法で確実に勉強して下さい。「学校や塾・予備校のテキスト」「過去問」「模試」をすべて、以上の方法で確実にこなしていけば、必ず受験生にとって最も効果の高い英語の「継続学習」になります。

3. ためらわず上級学年や、上級学校の内容にまで入り込むこと

(1)中学 2 年生なら、中学 3 年生や高校 1、2 年生の勉強をすることをためらってはなりません。

中学 3 年生であれば、高校生や大学受験生の学習内容に入れる科目が一つや二つあっても不思議ではありません。小学生が、中学生や高校生の勉強をしてもよいのです。高校生はもちろん、大学の教養課程や専門科目、大学院生の勉強を科目によってはすべきです。遠慮したり、ためらったりする必要はまったくありません。なにしろ、あなたはその科目が大好きで、勉強すればするほど頭がさえ、どんどん上の学年や上の学校の本を読むことができるからです。「すでに十分できる科目をさらにできるようにする」ためには、毎日の継続学習の内容として、上級学年・上級学校の学習内容をためらわずに入れることが最も有効です。

(2)大きな町の大きな「本屋さん」や、大きめの大学内にある「本屋さん」に行けば、勉強すべき本は山のようにあります。

(3)高校 3 年生の内容までなら、塾や予備校の先生に頼めばいくらでも上の学年の授業を受けさせてくれます。大学の内容を勉強したければ、ラジオやテレビの放送大学を視聴することで可能です。放送大学のテキストは少し大きめの本屋さんなら売っています。

(4)自分の可能性は自分で伸ばす以外ありません。自分の努力で一つ得意科目をつくったら、誰に遠慮することなく、どんどん学習内容のレベルを自分の所属する学年のワクを乗り越えた高いレベルのところまでもっていくこと。チャレンジ精神を勉強の面でも活かすことを希望します。

4. おわりに

勉強以外で自分のやりたいこと・得意なことを、思い切り高いレベルにまでもっていくこと。そのためにはどうしたらよいかを常に考え続けること。

(1)ダラダラとイヤイヤ時間を過ごすことほどもったいないことはありません。どうせ何かに取り組むなら、きのうよりは今日、今日よりは明日、去年よりは今年、今年よりは来年と、少しでもよいから向上するように努力を継続するべきです。

(2)どうすればもっと上手にできるか、レベルが大幅に向上するかをいつも真剣になって考え続けることが、自分自身の飛躍のためには大切です。ボランティア活動・趣味・スポーツ・旅行などやりたいことはたくさんあるでしょうが、その中で一つ一つ本当に好きな分野・得意な分野を早く探し当てて、本気になって10年以上継続学習すれば、必ずその分野で一流となれ、人生が一気に楽しく豊かになります。お金をかける必要はありませんが、好きなことをやるのですからそれなりの努力は必要です。

(3)ある程度の生活ができ、身の回りのものも随分そろそろ状況に日本は成り上がりました。これからは、減速経済の下で「内面的充実」や「自然と精神の調和」を考える時代となりました。人生の主人公である自分自身を最も活かせるものは何かを常に考え、自分の人生にとっての「得意科目」をさらに伸ばせるよう、みんなで知恵を出し合って頑張りましょう。

御参考

激動の 1991 年に出版された著作から、教育の重要性について考えていただきたいと思い、以下の 3 つの文章を紹介させていただきました。御参考までにご覧下さい。

月刊誌「みにむ」1994 年 3 月号

「教育」の重要性について考える

- 激動の 1991 年に出版された 3 つの著作から -

開倫塾

塾長 林 明夫

1. 「アメリカはあまりにも長い間ソ連と比較することで自らの弱点に目をふさいできた。そもそもソ連はアメリカにとっても、その他の国にとっても、将来のモデルではなかった。それなのに、ソ連との競争を意識するあまり、一段と深刻化するアメリカ社会の脆さを曖昧なまま放置してきたのだ。その結果、アメリカは歴史上初めて、他国に後れをとるかもしれないという危機にさらされている。ソ連と比べれば、アメリカの制度や経済は目を見張らせるほど優れている。しかし、いまや勢い盛んな他の国々と比較した場合アメリカは疲弊し消耗しきって見える。もし純粋に経済的な将来のモデルがあるとすれば、それは日本だ。日本人は猛烈な情け容赦のない競争相手である。教育水準が高く勤勉で、規律の行き届いた社会という点で、日本は他国の見本といってよい。

50 年代～ 60 年代半ばに比べ、アメリカ経済は生産性と競争力の低下という深刻な徴候を見せ始めた。ビジネスはなんでもアメリカが一番という戦後経済の想定は、もはや通用しなくなった。さらに厄介なことに、アメリカの教育制度が著しい機能不全に陥ってしまった。

われわれがいま育てている若い世代は、複雑かつ課題の多い未来への備えが十分できていない。アメリカが 2010 年あるいは 2020 年の時点で、超大国の地位に留まっているかどうかを最も的確に判断できる立場にあるのは、知事の皆さんです。皆さんこそ、国家安全保障問題の担当者よりも、高校卒業生の平均的レベルについてはるかに精通しておられるのですから - 。

(「ネクスト・センチュリー」デイビット・ハルバースタム著 浅野輔訳 1991 年 TBS ブリタニカ刊 P21 ~ P23 より引用)

2. 「私は数年間アジアにいて、公平な立場から、対立するインドとパキスタン双方の相談に与ってきたが、その経験から言えば、富める国からの援助は、その大半が物的な装置や設備にではなく、人的資本の開発に向けてほしいと思う。公教育こそ、経済を進歩させるための第一歩だということは、前世紀が教える真理として広く認められてきたことだが、今は忘れられかけている。今世紀が教える偉大な真実は、国中の人々が十分に読み書きできる国は貧しくなく、読み書きの能力の不十

分な人々が多い国は貧しいということである。だから教育こそが、紛争を煽り立てる無知な指導者に対抗して身を守る唯一の保護手段なのだとすることを、私たちは忘れないようにしよう。そしてまた、経済的に豊かになることこそが、貧しい人々が身体をバラバラに吹き飛ばされて死ぬことを受け入れたりしないように不可欠な、そして誰の目にも明らかな方法だということも、忘れないようにしよう。アメリカの歴史を百年さかのぼって、当時人々が、経済発展のために何が必要だと信じていたかを、たずねてみるとします。答えは、二つ返ってくるでしょう。一つは、交通の改善です。もう一つは、教育です。しかし今、私たちはこのような自国の歴史の教訓を、かなりの程度、忘れてしまっているのです。だから、アフリカ、アジア、ラテン・アメリカに援助をする際に、教育援助の重要性を十分に強調してこなかったし、それらの国々に対して、教育を改善するように働きかけることも、不十分でした。

一つの偉大な事実があります。それを私は繰り返し引き合いに出してきましたが、いつも心に刻んでおくべきものだと信じています。それは、世界を見回してみると、字が読めて貧しい人々というのはいないし、貧しくはないが字が分からないという人々もいないという事実です。文化的発展の重要性が、よく分かるではないですか。

あえて踏み込ませてもらって言えば、日本だって、もし一般国民の教育のためのシステムにうんと投資を傾けるといふ先見性を持っていなかったとしたら、いまだに貧しいままだったろうと思いますね。」

(「実際性の時代」ジョン・ケネス・ガルブレイス著 岸本重陳訳 1991年小学館刊 P66 ~ P67 と P88 より引用)

今回は1と2の二つの文章を引用させていただきました。どちらも激動の1991年に出版された著作のなかでも高い評価を与えられるべきものであります。

よく読んでいただきますと、どのくらい「教育」というものが人々の日々の生活のために必要か、また、人々の生存の基盤となる国家の運営のために必要かがよくおわかりになると思います。

3. 元最高裁判所長官である横田喜三郎氏は昨年出した著作の中で警察庁の分析を引用し、日本の犯罪率の低いことの原因として、「日本の教育水準の高いこと」を挙げています。

「これについては、教育支出の多少が一つの標準になるであろう。国民総生産に対する教育支出の割合は、主要因のうちで、アメリカが第1位で、日本は第4位であり、公的支出に対する割合は、フランスが第1位で、日本は第3位である。主要因のうちで、日本はとくに高いというのではなく、ほぼ中位である。しかし、主要因国以外の国も考慮に入れれば、かなり高い方である。そればかりでなく、かなり古い時代から、日本は教育がかなり普及していたようである。その例として、徳川時代に、一般の人々の6割が読み書きができたということである。これは大いに注目すべきことである。そのころには、とくに教育制度というほどのものはなく、せいぜい寺子屋の程度のものであったが、それでも一般の人々の6割が読み書きができたということは、たんに読み書きだけとしても、意外なほどの教育の普及といわなければならない。

また、非識字率も一つの標準になる。表にあるように、主要国のうちで、3国しかわかっていな

いが、そのうちでは、日本がもっとも率が低い。アジアやアフリカには、非識字率が 50 % くらいの国が少なくなく、70 % から 80 % にも及ぶ国さえある。さらに、新聞の普及も一つの標準になる。日刊新聞の発行部数を見ると、一人当たりで日本がもっとも多く、2 位のイギリスと 3 位の西ドイツをかなり引き離しており、4 位のアメリカに比較すると、2 倍以上に達している。新聞は一般の人々に読まれるものであるだけに、その普及率は、一般の人々の教育水準をよく反映するものである。

このように見てくれば、日本の教育水準はたしかに高いといってよいであろう。」

非識字率

(15 歳以上の人口に対する割合)

日 本	1980 年	0.3 %
アメリカ	1979 年	0.5 %
イタリア	1985 年	3.0 %

(* 「世界と共に歩む」横田喜三郎著 1991 年読売新聞社刊 P216 ~ P218 より引用)

4 . 日本の現状が世界最高だと言われれば、「どこが」との反論も出るとは思います、時には、内外の最新の著作から自らのおかれた立場を推測することも大事かと思ひ、長い引用ですが、考えるヒントになればと今回はさせて頂きました。

御参考

「勉強なさい」、子どもの顔を見るとついつい口に出る言葉です。しかし、この言葉はかえってやる気をなくしたり、反発を招きます。この他にも、子どもの前では避けたほうがよい言動が多々あります。一方で、子どものやる気や好奇心を高める方法もたくさんあります。次の文章で、それについて具体的に紹介させていただきました。

月刊誌「みにむ」1997年12月号

家庭教育、基本のキ - 子どもに勉強しろと言う前に -

開倫塾

塾長 林 明夫

1. はじめに

小学生や中学生、高校生と大人が接する場合に、どんな点に注意をしたらよいだろうか。

本年6月以来、毎週3～4日、夜8時から10時まで開倫塾の保護者の方を対象に、私がお話してきた内容のごく一部をここに紹介させて頂く。

2. 子どもに勉強しろと言う前に...

(1) 保護者が家で子どもにできることの一つに、食事をさせることがある。昼食は給食等であることが多いであろうが、朝食と夕食は家でとるのが普通だと思う。朝食は年に365回、夕食も年に365回、合計で730回とることになる。もし可能であれば、子ども一人でポツンと食事をとらせるよりは、保護者の方が一人でも一緒に食事をとって頂きたい。もし都合で、子ども一人で食事をとらなければならない場合は、毎回大変かもしれないが、一言メッセージを子どもに伝える工夫をして頂きたい。大人もそうかもしれないが、子どもは寂しがりであるので、何らかの形で「目には遠いかもしれないけれど、心は近くにあるのよ」というメッセージを伝えて頂きたい。

1年730回、10年で7300回をそのようにしてもらおうのとそうでないのとを比べると、大人の手間はかかるかもしれないが、ちょっとした工夫で子どもが寂しい思いをすることが随分と少なくなると思う。

(2) では、食事中に保護者の方がそばにいればよいかというと、必ずしもそうではない。会話の内容が問題だ。

例えば、お母さんと子どもが二人で食事をしているとする。お母さんは大人なので、大人の間のような人間関係で悩んでいることが多い。夫である子どもの父親と時々グチャグチャすることもあるだろう。夫の父親や母親とうまくいかない場合も時にはある。夫の兄弟姉妹とグチャグチャすることも時にはあるかもしれない。勤め先の上司や同僚、部下とトラブルを起こしていることも時にはあるかもしれない。学校のPTAの人やボランティア団体、趣味の会、アスレチッククラブの方と面白くない状況に陥ることもたまにはあるかもしれない。隣近所の人とゴチャゴチャしてしまうことだって時にはある。大人であるから、30年以上お互いに生きていればなかなか理解しきれないことも多く、気にし始めて思い返してみると、腹の立つことはいくらかもあるかもしれない。大人同士の人間関係は複雑で、グチャグチャしたり、うまくいかないことは仕方がないことが多い。

私がお願いしたいのは、そのような複雑な大人の人間関係についての「グチ」や「悪口」を、「食事中に」子どもに伝えないで頂きたいということだ。5歳～18歳位の児童・生徒は、大人同士の複雑な人間関係についての「悪口」や「グチ」を伝えられるにはあまりにも若すぎる。子どもを大人の「カウンセラー」にするのはあまりにも気の毒だ。どうしても子どもに「グチ」や「悪口」を聞いてもらいたければ、20歳を過ぎて大人になってからにしてもらいたい。

「最大の家庭教育は、隣近所の悪口を親が子どもに言わないことです」と、京都の山科にある一燈園の石川洋先生から教わったことがあるが、その通りであると思う。

(3)次に、食事中に口にしてはならないのは、他人とその子を「比較」することだ。例えば、12月に入って学校から通知票を頂いて来た日の食事中に、他の人と「比較」をされたら、子どもは本当に気の毒だ。「兄弟姉妹の　　ちゃんは、あなたよりも成績がよくて偉い」「隣近所の　　ちゃん、親戚の　　ちゃんはよい成績で素晴らしい」、あげくの果ては「あなたのおじいちゃんは成績がよかった」「お父さんは随分できたのに、あなたはまったく...」とか、「私の中学時代は、あなたよりは遙かによい成績をとったのに...」などと言われると、子どもは存在する場所がなくなり、せっかくの食事もノドを通りにくくなる。

兄弟姉妹や隣近所、知り合いや親戚には必ず何人かは成績のよい人がいることが普通だ。その人たちを引き合いに出して、子どもと「比較」をなさらないようにくれぐれもお願いしたい。

「ガラスの十代」「ギザギザハートの子守り歌」などと歌にもなるように、子どもの心は傷つきやすい。大人と同様、子どもも「比較」されるのが何より辛い。

*ちなみに、毎学期の終業式、つまり「通信簿もらい」の日には、お子様に「手づくりのごちそう」をお出しになるとよいと思う。もし、お子様の成績が前学期よりも少し上昇したら「よかった会」を、少しでも下がったらその子にとっての「残念会」をと、一人ひとりのお子様ごとに「ちゃんはよくがんばったから『よかった会』だね」「○○君はもう少しがんばったほうがいから『残念会』だね」と言って励ましてあげると、子どもは救われることが多い。他人と「比較」されるわけではないので、「通信簿もらいの日」が楽しみになり、成績も上昇することが多い。小学校入学から高校卒業までの12年間に、1年に3回、合計36回「通信簿もらいの日」がある。そのたびごとに他人と「比較」されて怒られるのと、手づくりのごちそうで「よかった会」「残念会」を開いてもらい励まされるのでは、長い目で見れば、随分と子どもの「成績」の伸びにも関係する。「通信簿もらいの日」には、このような心温まる小さな家庭内「イベント」をお願いしたい。

(4)子どもの顔を見るたびごとに、「勉強しなさい」と口グセのように言い続けることも避けたほうがよい。まして食事中に、「もっと勉強せよ」と毎回1回以上は口にすることはお避けになったほうがよい。

これは、「もっと仕事をしなさい。売り上げを増やしなさい。利益を出しなさい」と部下が上司から、会うたびごと、また食事する都度に言われるのと同じだ。やる気をなくしたり、反発をする直接の原因ともなりやすい。

特に、定期試験を1～2週間後にひかえた生徒や受験をひかえた受験生に、いてもたってもいられず、「勉強しなさい」と言うことは避けたほうがよい。本人たちは、そろそろ勉強しなければと思っている。そのところに「勉強しろ」と言われると、やる気を失ってしまうからだ。「私が言わなくて、一体誰が言うのか。試験は間近なのに」と、保護者の皆様のあせる気持ちはわかるが、試験の迫った子どもに「勉強しなさい」と責め続けることはできるだけ避けたほうがよい。

(5)では一体、保護者である親はどのように子どもに接すればよいのか。何を口にしたらよいのか。

子どもが小さい時には学校の勉強を見てあげることできるが、中学や高校になると教えるのもなかなか難しい。だから、つい他人と「比較」をしたり、「勉強しなさい」と言い続けてしまうのが本音なのではないか。ではどうしたらよいのか。

最もよい方法は、保護者の方が何でもよいからテーマを見つけて、一心不乱になって勉強する姿を子どもに後ろから見せることだ。今まで家に帰ればゴロゴロしていたお父さんが、急にコンピュータの勉強をし始めたり、ワイドショーの内容しか話題にしなかったお母さんが、厚い文芸書を読みふけるようになると、家族内の「知的雰囲気」が急変する。子どもも、親が変わったのなら自分も変わろうと、親に負けじと勉強し始めることが多い。

率先垂範。子どもに死ぬ気で勉強しろと言う前に、保護者の皆様が死ぬ気で勉強し始めることが、子どもに勉強させるのには最も手っ取り早い方法だ。時々「何のためにこの勉強をしているのか」「どのような勉強をしているのか」「この勉強をしていて、どこが面白いのか」「どのようなことが問題となっているのか」「どのような方法でこの勉強を進めるのが最も効率的か」等々を、できるだけやさしくかみ砕いて説明してあげると、子どもは「勉強というものは面白いものだ」「お父さんやお母さんに負けないよう頑張らなくては」と思い、今までの何倍もエネルギーに、家でも学校でも学習塾でも勉強するようになる。

子どもに遠慮は不要である。子どもに恥ずかしがることもない。大人が全力で取り組んでいる勉強の内容について「熱っぽく」お話をしてあげることが、子どもの知的好奇心を育むのだ。

将来子どもに就かせたい職業についての希望がもし保護者の皆様にあるのなら、一般教養を高めるという観点から、その分野の最高水準の施設を見学に行ったり、その分野に精通している方に子どもを引き合わせてあげると、ムリヤリでなく、子どもの自由な意思で将来の進路を探し求める時に大いに役に立つ場合が多い。

3. おわりに

(1)女子が赤飯で祝ってもらえるような現象が、男子にも14歳ころにあるが、男子は誰にも祝ってもらえず、嫌悪感で悩み抜く場合が多い。「白昼夢」のような状況、「心の中に嵐が吹きすさぶ」ような状況が何か月か続くと言われる。今までしっかりしていた子が、ガックリして、一見「なまけ者」のようにまわりから見えることも多い。

そのような男子を見て、「もっとしっかりしなさい」「勉強もしないで何だ」などと言いたいこともあるかもしれない。が、もしできれば「なじる」ことは避けて頂きたい。誰でも一度は通過する大人になる一段階であるとお考え頂いて、どうか「温かく見守ってあげる」ことをお願いしたい。女子は赤飯までたいて祝ってもらえるのに、男子は本当に気の毒なのが14歳の中学生だと思う。

(2)もしできれば、週に1回、例えば日曜日の夕方にも子どもを連れ出し、家族みんなで森や緑に囲まれた場所に行き、散歩をしたり森林浴をするとよい。「メジテーション」や「呼吸法」、「気功」、「座禅」などがたとえ20～30分でもそこでできれば、子どもだけではなく、大人のも情緒の安定にも役立つ。

(3)普段は忙しいかもしれないが、最後のところで保護者の方が「心静かな生活」を目指して頂ければ、子どもたちは伸び伸び育つことが多いのではないかと思う。大変かもしれないが、頑張ってください。

御参考

私は本が好きでよく読んでいます。その中で気に入ったところや深く感じられたところを書き抜き、「書き抜き読書ノート」にして宝物にしています。その 1 つを、以下に紹介させていただきます。

書き抜き読書ノート

OECD(経済開発協力機構)報告書「日本の若年雇用 Job for Youth-Japan」

OECD、2008年12月18日刊を読む

日本は若年層が安定的な職に就けるよう更なる対策が必要

1. OECDの新報告書『Job for Youth-Japan (日本の若年雇用)』によれば、日本の若年層は正規雇用にくるのがますます難しくなっており、日本の当局は若年層の支援に向けて職業訓練制度を拡大するとともに、若年非正規労働者向けの社会保障を拡充する必要があります。
2. 本報告書によれば、日本の15～24歳の失業率は2002年の9.9%から2007年には7.7%へと低下し、OECD平均の13.4%を大幅に下回っています。しかし、2007年の15～24歳の長期失業率は10年前の18%から21%へと上昇しており、若年就業率も41.5%と依然として10年前の水準を下回り、OECD平均の43.6%も下回っています。
3. 若年層は日本の労働市場における二重化の進展から深刻な影響を受けています。2007年には、学生を除く15～24歳の若年労働者の約3人に1人が派遣やパートタイムなどのいわゆる非正規雇用に就いていました。非正規雇用は所得と社会保障の水準が低く、スキルを磨いたり、キャリアを高めたりする可能性もほとんどありません。派遣から正規雇用へと移行するのも困難で、若年層の多くが不安定な雇用から抜け出せなくなっています。
4. フリーターと呼ばれる派遣やパートタイムの職に就いている若年層を支援するため、日本政府は一連の改革を導入しています。例えば、やる気を失った若者向けの就職支援合宿の実施、求職中の若者向けワンストップサービスセンターであるジョブカフェ、職業訓練やキャリア開発を促進するジョブカード制度などです。報告書はこれらの取り組みを歓迎するとともに、一層の改革に向けて多くの提言を行っています。
5. (1)教育と労働市場の連携を強化する。学校、特に高等教育機関は学生に企業が求めるスキルを与えるために企業との繋がりを密にすべきである。また、企業や産業界の代表はカリキュラムづくりや卒業生のスキル形成を支援することが求められている。これを後押しする施策としては、大学と業界団体間の交流・連携を促進するための正式な仕組みの設立などが考えられる。

- (2) 公的な若年層向け職業訓練を拡充する。新たに導入されたジョブカード制度は有望な前進であり、実務訓練の機会や労働体験の提供への企業参加を促進するなどして強化すべきである。政府も社会的パートナーと緊密に協力し、企業、労働者、公的財政の間や一般予算と雇用保険基金など様々な公的資金の間でどのように訓練の資金負担を分担するかについて合意を図る必要がある。
- (3) 正規労働者と非正規労働者の間にある実効的保護の格差を縮小するとともに、賃金や給付金における差別的慣行の問題に取り組む。例えば、正規労働者の雇用保護を緩和する一方、有期、パートタイム、派遣労働者向けの雇用保護や社会保障を強化することなどが挙げられる。これらの措置は、労働市場の安定性と柔軟性をともに高める包括的な改革パッケージの一環として策定・実施する必要がある。
- (4) 対象のより正確な絞り込みや詳細な評価を行うなどして、若年層向けの積極的な労働市場プログラムを強化する。一部の現行プログラムは規模が小さすぎて失業中や不安定な雇用に就いている多くの若者のニーズにうまく応えられていない。こうしたプログラムに投入する公的資金を増やすとともに、十分な資格を得ずに学業を離れた若者向けの支援を強化すべきである。

本報告書は、現在 10 カ国を対象としている OECD の若年雇用政策報告書シリーズの最新刊です。

コメント

若者に本当に必要な学力は何か。「キー・コンピテンシー」を基盤に置き具体的な仕事能力を明らかにした上で、民間がスキル向上のためのしくみづくりを産業としてどんどん準備することが求められる。それには、遊休施設を活用したスキル向上のためのコミュニティ・カレッジをどんどん作ることを促進することが最も有効と考える。

- 2008 年 12 月 30 日 林明夫 記 -

御参考

次の文章は、佐野短期大学で私が行った特別講義の資料です。御参考までにご覧下さい。

佐野短期大学
第1学年経営実践特別講座資料

2008年12月3日(水)
14:30 ~ 16:00
佐野短期大学

「経済とは何か」を考える

- 経営とは営みを経て目的・社会的使命を達成すること -

林 明夫
(社団法人 経済同友会、幹事)

1. はじめに

(1) 自己紹介 - 私の仕事、活動 -

1つ1つの仕事や活動には、各々の目的・「社会的使命(mission、ミッション)」がある。その各々の目的・「社会的使命(mission、ミッション)」を果たすことが、そこに所属する方々や関係する方々の人生における成功の実現に貢献し、正常に機能する持続可能な社会の形成に役立つ。そう考え、仕事や活動をしている。

株式会社開倫塾 代表取締役社長

* 小学生、中学生、高校生の学習指導(栃木県、群馬県、茨城県内)

マニー株式会社 社外取締役

* 手術用縫合針製造(宇都宮、ハノイ、ヤンゴン。今後、ピエンチャンでも)

宇都宮大学大学院工学研究科 客員教授

* 工学系大学院生の教育

社団法人経済同友会 幹事、対内直接投資推進委員会 副委員長、役員選考委員会 委員

* 政策提言策定

学校法人友朋学園東日本高等学院 評議員

* 不登校であった生徒に高校教育

社会福祉法人両崖福祉会特別養護老人ホーム清明苑 理事

* 老人介護施設

栃木県生産性本部 理事

* 生産性向上と経営品質向上

開倫ユネスコ協会 会長

* 人間の安全保障(Human Security ヒューマン・セキュリティ)の推進

開倫研究所 所長

* 地域のシンクタンク。「教育経営品質研究会」を、毎月、東京で開催

CRT 栃木放送「開倫塾の時間」毎週土曜日 9:15 ~ 9:25 担当

* 勉強の仕方、「学び方を学ぶ」能力の育成

読売新聞 栃木版「とちぎ寸言」コラム担当

* 栃木県の経済活性化と県民生活向上への提言

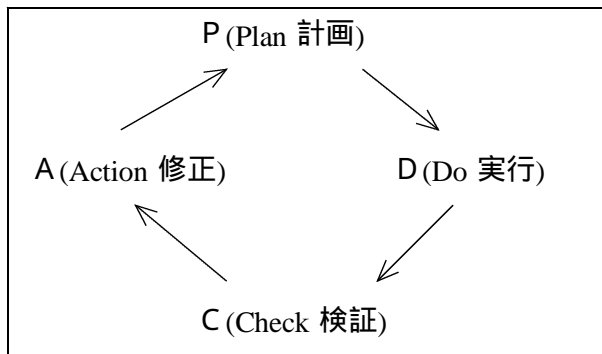
月刊「私塾界」、「林明夫の歩きながら考える」コラム担当

* 学習塾・予備校・私立学校の経営者の経営能力向上

(2) 本日の講義の目的 - 「経営とは何か」を考える -

経営とは何か、仕事をするとは何か、活動するとは何かを目的・「社会的使命(mission、ミッション)」という観点から考えることの大切さを「理解」すること。

仕事や活動をし、結果(成果)を出し続けるために求められる『P(Plan プラン、計画) D(Do ドウ、実行) C(Check チェック、検証) A(Action アクション、修正)』の意味を「理解」すること。



「社会に出てから求められる能力」とは何かを「理解」すること。

(3) お願い - 真剣勝負で講義に臨むこと -

「一所懸命(一つの所で命を懸けるくらい熱心に)」お話ししますので、「私語(おしゃべり)」は「絶対」にしないで下さい。

よくわからないところは、話の途中や QandA のところで遠慮なく御質問下さい。

大切と思われるところ、よくわからないところは、この講義資料にマークをすること。また、資料に書いてないことで大切と思われることは、メモ(ノート)を取り続けること。講義終了後、資料やメモ(ノート)を何回も読み返し、一度「理解」した内容を「定着」させることが、「応用(世の中に出て役立てる)」に繋(つな)がります。

2 . 企業活動とは - 開倫塾の場合 -

(1) 経営理念 - 経営する上で最も大切にしていること -

顧客本位

独自能力

社員重視

社会との調和

* この 4 つの経営理念は、開倫塾で取り組んでいる「日本経営品質賞」の示した「卓越した業績(Performance Excellence、パフォーマンス・エクセレンス)」の内容。

この4つの経営理念が実現できてはじめて、「卓越した業績」を達成できたと考える。

(2) 経営目的、教育目的 - 開倫塾の経営とは、営みを経てこの目的を達すること -

- 高い倫理
- 高い学力
- 高い国際理解
- 自己学習能力の育成

* この4つの開倫塾独自の「経営目的、教育目的」は、OECD(経済協力開発機構)のPISA(15歳時国際標準学力テスト)の基底となった学力観であるキー・コンピテンシー(Key Competencies)に具体的に示されていると考える。

開倫塾の経営目的、教育目的	キー・コンピテンシー (鍵のように大切な基本的能力)	社会認識
高い倫理	自律的に活動する能力	超高齢化社会
高い学力	道具(知識・情報・技術など)を相互作用的に用いる能力	知識基盤社会
高い国際理解	多様な集団で交流する能力	グローバル化社会
自己学習能力の育成	Learning To Learn(ラーニング・トゥ・ラーン 学び方を学ぶ)能力 読書(新聞も含む)による思慮深さ	

* この ~ の3つの「キー・コンピテンシー」とキー・コンピテンシーをつくりあげるとの能力が「社会に出て求められる能力」と私は考える。

* Key Competencies for a Successful Life and a Well-Functioning Society
人生の成功と正常に機能する社会のためのキー・コンピテンシー

(3) 経営方針

学ぶに値する塾づくり

(ア) 学校成績向上

(イ) 希望校合格

働くに値する職場づくり

(ア) empowerment(エンパワーメント)

- ┌ 「能力強化」
- └ 「権限委譲」

(イ) employability(エンプロイアビリティ、雇われる能力)

- ┌ 経営幹部としての employability
- └ マネージャーとしての employability
- └ 一般社員としての employability

倒産しない会社づくり・閉鎖しない校舎づくり

(ア) 企業は原則倒産

(イ) 校舎は原則閉鎖

能力を強化した上で権限を委譲し、一人ひとりの生産性を上げ、雇用を維持・確保

(4) 行動目標

教え方日本一

(ア) 授業毎に必ず「レッスンプラン Lesson Plan」を作成

- ・ 塾生やクラスの実情に合わせた計画(Plan)づくり
- ・ 授業中は、Lesson Plan の中に気づいた点をメモ(memo)し続ける
- ・ 授業後には、Lesson Plan に基づき自らを reflection(リフレクション、振り返り・熟慮・熟考・省察)
- ・ Lesson Plan は、先生としての成長の記録

Plan	Do	Check	Action
------	----	-------	--------

(イ) 日本一の研修システムづくり

(ウ) 模擬授業

* 年に一回、「全国模擬授業大会」を足利学校のある街足利市で開催

塾生数北関東一

(ア) まずは、栃木県の全域に開倫塾を開校。学習塾を選ぶ際には、開倫塾という選択肢を持っていただきたい。豊かさとは、選択肢があること。

* 本年は、NASU ブロックを開設。7 月に矢板校、大田原校、黒磯校を開校。12 月には西那須野校、那須校を開校。

(イ) 2009 年度中に、栃木県内 50 校の開校を終了させるのが短期の行動目標。2010 年度より順次、群馬県、茨城県、東京都川の手地区で各々 50 校ずつ開校。200 校まで持っていく、塾生数を北関東一にすることが中期の行動目標。

(ウ) そのためには、

P	D	C	A
---	---	---	---

 を成功の状況と原因、失敗の状況と原因を絶えず振り返り反省・分析。その情報を共有化しながら、PDCA をさらに徹底的に回し続けなければならない。

この 2 つの行動目標達成のために、各地域ごとではやっている学習塾の「競合比較」と社内・社外・同業他社の「ベストプラクティスのベンチマーキング」とその情報の共有が欠かせない。

(ア) 「競合比較」

(イ) 「ベストプラクティスのベンチマーキング」

* 「暗黙知の共有化」

(5) 開倫塾の業務

教育業務

募集業務

基本業務

(6) 開倫塾の禁止事項

セクシズム(男女差別)禁止

エイジズム(年齢差別)禁止

レイシズム(出身による差別)禁止

法令違反行為禁止

夜 11 時以降の勤務禁止

(7) 開倫塾の社会的使命(mission、ミッション)

成功の実現に貢献

正常に機能する社会の形成に貢献

* 持続教育 ESD education for sustainable development (持続可能な社会の形成のための教育の推進)

企業市民(Corporate Citizenship コーポレート・シチズンシップ)としての社会貢献活動の推進

* CSR(Corporate Social Responsibility コーポレート・ソーシャル・レスポンシビリティ)企業の社会的責任を果たすため

3 . 現代社会で求められる大切な能力とは

(1) 現代は「知識基盤社会(Knowledge Based Society ナレッジ・ベースト・ソサイアティ)」。

そこで求められるのは、「知識・情報・技術などを相互作用的に用いる能力」。

「知識」とは、小学校、中学校、高校、専門学校、短期大学、大学、大学院などの教育機関で学ぶ内容と考えてもよい。

(ア)佐野短期大学で学んでいる教育内容は社会に出てすべて役に立つ。十分「理解」した上で、スミからスミまでしっかり「定着」(身に付ける)。学年末試験で全科目最高の評価を得ること。

(イ)そのためには、12 月に入ったのだから、試験の当日まで「勉強、勉強、また勉強」の毎日を過ごすこと。

(ウ)年末や正月に遊び呆けては「知識」は身に付かない。

「情報」とは、新聞、雑誌、インターネットなどによって得られるものとする。

(ア)大学生は「新聞」を毎日 1 時間以上読んで、世の中のことを批判的に考える能力を身に付けること。

(イ)専門分野については、専門の「雑誌」から情報を得ること。

* 専門分野は何が何でも 1 つ以上必ず持つこと。

(ウ)自分の専門領域にしたいテーマが決まったら、「インターネット」を用いて情報を得ること。

* 早めに英語を身に付けると、英語により世界中の情報がインターネットから得られる。また、こちらからも英語で発信できる。

「技術」とは、専門領域についての「理論」を「理解」し、「定着」つまり身に付けた上で、実際に「応用」できることをいうと考える。

(2) 現代は「グローバル化された社会(Global Society グローバル・ソサイアティ)」「フラット化した世界(The World is Flat. ザ・ワールド・イズ・フラット(トマス・フリードマン著))」。

そこで求められるのは、「多様な集団で交流する能力」。

「多様性(diversity ダイバーシティ)」とは、

(ア)自分と異なった成育環境、言語、文化、価値観を持った人々を、そのまま自分と同じくらい大切にし、その存在を認めること。

(イ)Human Dignity(ヒューマン・ディグニティ)、人間としての尊厳を大切にすること。

(ウ)Tolerance(トレランス)、忍耐・寛容を大切にすること。

コミュニケーションの手段としての英語は、何が何でも身に付けること。

(3)現代は「超高齢化社会」。

そこで求められるのは、「高い志」と「自律的に活動する能力」。

超高齢化社会とは、健康に気をつければ多くの人が 80 歳以上まで生きられる(人によっては 100 歳以上まで生きられる)社会。

社会に負荷をかけず「いつまでも若々しく生きる」(日本にヨガを紹介した中村天風先生)ことを目指そう。

自己責任。自助努力。

やってよいこと、悪いことを知ること。(「法」と「道徳」とは何かを知ること)

躰(しつけ)を身に付けること。

(ア)美しい立居振舞(たちいふるまい)

(イ)敬語表現を含む言葉遣い(ことばづかい)

私の好きな言葉

(ア)「教育ある人(Educated Person エデュケイティド・パーソン)とは一生勉強し続ける人」
(経済学者、ドラッカー先生)

(イ)「一生勉強、一生青春」(足利市出身の書家、相田みつを先生)

(ウ)「If you can dream, you can do it! (もしあなたが夢を見ることができれば、あなたはそれをすることができる)」(ヒューストンの宇宙技術者の合言葉)

(エ)「歴史における個人の役割」(ロシアの革命家、プレハーノフ)

(オ)「持続する志」(小説家、大江健三郎のエッセイ集)

(カ)「ブルドック魂」(食いついたら離すな)(足利市立山辺中学校のクラス担任、岡田忠治先生)

(キ)「練習で泣いて、試合で笑え」(足利市立山辺中学校柔道部監督、椎名弘先生)

(ク)「一所懸命(一つの所で命を懸けるくらい熱心にものごとに取り組もう)」(足利高校マラソン大会の合言葉)

(ケ)「独立自尊」(慶應義塾創始者、福沢諭吉先生)

(コ)「離見の見(りけんのけん)」(世阿弥、ぜあみ)

(サ)「(あなたは)本当の月を見たことがあるのか、本当の自分を見たことがあるのか」(京都一燈園、石川洋先生)

4 . おわりに

(1)

P	D	C	A
---	---	---	---

 を回すとは

P (プラン、計画) D (ドゥ、実行) C (チェック、検証) A (アクション、修正)

計画の前に、まず「仮説」を置き、ある「前提条件」や「条件設定」のときの「最善策」を立てる。

このような条件のもとならこのような結果になるはずだという「仮説」を実証するように、計画を立て、実行してみる。実行して、予定通りの結果が出たか否かを検証。もし、出ていなければやり方を変えて、つまり修正してやり直す。これを繰り返し目的を達することが経営。

「どのようなときに、どうなった」「どのような行動をしたときに、どうなった」という「因果関係(いんがかんけい、原因と結果の関係)」を十分に分析。因果関係についての情報を共有化し、企業として同じ失敗を繰り返さないこと。

(2) どんな仕事や活動にも、教科書・テキストはない。そこで、自分自身で、自分自身用の教科書・テキストを作る以外にない。仕事ができるかできないかは、「メモ」を取り続けることができるか否か、その「メモ」を自分専用の教科書・テキストとして後日何回も読み返して十分「理解」した上で正確に身に付けたか否かで決まる。「メモ」は大事。仕事や活動のための専用教科書。

(3) 但し、一番大事なのは、健康(心の健康と身体の健康)。くれぐれもお体を大切に。

以上

- 2008年12月3日記 -